



ACL カスタマイズツール 操作説明書

第 1.0 版

2025 年 5 月 30 日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社



改訂履歴

版数	改訂日	変更箇所	変更内容
1.0	2025/5/30	－	新規作成

目次

1 はじめに	1
2 動作環境	2
2.1 概要	2
2.2 動作確認環境	2
2.3 ご注意	3
3 用語集	4
3.1 パッケージソフトに組み込んだソフトウェア	4
4 ACL カスタマイズツール	5
4.1 概要	5
4.1.1 レイアウトパターン	6
4.2 基本フロー	7
4.3 起動する	8
4.4 画面構成	9
4.4.1 ACL カスタマイズメニュー	10
4.4.2 デザイン画面構成	10
4.5 カスタマイズする帳票を開く	11
4.5.1 過去に作成したレイアウトパターンの引き継ぎ	16
4.6 デザインを編集する	18
4.6.1 項目を選択する	19
4.6.2 項目を移動する	20
4.6.3 項目を削除する	21
4.6.4 項目を整列する	22
4.6.5 項目のサイズを変更する	23
4.6.6 項目のサイズをあわせる	24
4.6.7 項目の間隔を調整する	25
4.6.8 項目の順序を変更する	26
4.6.9 ツールボックス上の項目を追加する	27
4.6.10 初期デザイン上にある項目を追加する	28
4.6.11 初期レイアウトに戻す	30
4.6.12 項目の詳細設定を行う	31
4.6.13 文字を途中で折り返して表示する	32
4.6.14 用紙サイズを設定する	33
4.6.15 ヘッダ／フッタを設定する	34
4.6.16 繰返部の印字方法を設定する	36
4.6.17 繰返部タイトル用にパネルを利用する	38
4.6.18 繰返番号（欄番号）を印字する	39



4.6.19 繰返しデータがあるページまで印刷する	41
4.7 印刷プレビューする	42
4.8 印刷する	43
4.9 カスタマイズした帳票を保存する	44
4.10 終了する	45
5 NACCS パッケージソフトからの利用	46
5.1 手動印刷から利用する	46
5.2 自動印刷／連続印刷から利用するには	47
5.3 カスタマイズした帳票レイアウトを他の PC と共有するには	48
6 チュートリアル	50
6.1 サンプルテンプレートの取り込み	51
6.2 ACL カスタマイズの起動	52
6.3 帳票レイアウトの編集	56
6.4 テンプレートの保存	68
6.5 ACL カスタマイズの終了	69
7 ACL カスタマイズメニュー	70

商標：Microsoft、Windows、Windows 11、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標または登録商標です。
DotNetBarcode は、（株）デンソーウェーブの登録商標です。その他の製品及び会社名は、各社の登録商標または商標です。



1 はじめに

- 本操作説明書は輸出入・港湾関連情報処理センター（以下、NACCS センター）が提供する NACCS パッケージソフト（以下、パッケージソフト）の付属ツールである ACL カスタマイズツール（以下、ACL カスタマイズ）の利用方法を説明するものです。
- Windows の基本操作を理解されていることが前提となっています。
- 画面イメージは Windows 11 を基本としていますので、OS のバージョンや設定により本操作説明書と実際のイメージが異なる場合があります。
- 操作は全てマウス操作（メニューや右クリックメニューから選択して各種操作を行うこと）を前提として説明しています。ショートカット等のキーボード操作による操作説明は省略します。
- 本操作説明書では、「ACL カスタマイズツール」、「NACCS パッケージソフトからの利用」、「チュートリアル」についてそれぞれ章を分けて説明しています。
- 「ACL カスタマイズツール」では、ACL カスタマイズの操作方法を基本的なフローに沿って説明します。
- 「NACCS パッケージソフトからの利用」では、ACL カスタマイズでカスタマイズした帳票レイアウトの NACCS パッケージソフトからの利用方法について説明します。
- 「チュートリアル」では、サンプルテンプレートを利用した実際のカスタマイズ方法について説明します。

2 動作環境

2.1 概要

ACL カスタマイズは、パッケージソフト上からの起動することとなりますので、パッケージソフトの動作環境に準拠します。

2.2 動作確認環境

ACL カスタマイズの動作確認を行っている環境は以下のとおりです。

表 2-1 動作確認環境

項番	対象	動作確認環境
1	OS	Windows 11 Pro (64bit 版のみ)
2	Web ブラウザ	Chrome Microsoft Edge (Chromium 版)
3	ディスプレイ解像度	対角サイズ 9 インチ以上で 8 ビットカラーの高解像度 (720p:1280×720 ピクセル) ディスプレイ
4	通信環境	インターネット回線 (netNACCS 処理方式を利用する場合) NACCS ネットワーク (インタラクティブ処理方式を利用する場合)
5	CPU	1GHz 以上で 2 コア以上、64 ビット互換プロセッサまたは SoC (System on a Chip)
6	メモリー	4GB 以上
7	ハードディスク	64GB 以上
8	グラフィック機能	DirectX 12 以上 (WDDM 2.0 ドライバー) に対応
9	光学ドライブ	CD-ROM/DVD の読み込み可能なドライブ
10	別途必要なソフトウェア	.NET Framework 4.8
11	その他	日本語キーボード、マウス プリンター (バーコードを印字する場合は 600dpi 以上を推奨、A4 モノクロ印字可能なもの)

2.3 ご注意

- Windows の RT 版（ARM アーキテクチャ版）は対象外です。
- 言語を日本語ロケールにすることで英語版 OS 上での使用も可能ですが、ACL カスタマイズは日本語表記となります。
- タブレットモードでの動作はサポートされないため、デスクトップモードでご使用下さい。
- 高 DPI 設定（スケーリング）には対応していないため、高 DPI 設定を行っている場合には設定状態によって画面表示が崩れる（フォントがぼやける、ハードコピー範囲がずれる等）場合があります。
- プリンターのうち納付書出力用に用いるものは「日本銀行 OCR で正確に読み取り可能な OCR 印字（OCR-B フォントを使用）が出力できること」を検証済みである必要があります。（検証済みプリンターは NACCS センターで公表しています。）
- ドットインパクトプリンターとして使用できるプリンターは、NACCS センターが動作確認を行い公表しています。
- 上記内容については動作確認済みの環境であり、動作を保証するものではありません。また、動作確認済みの OS・ブラウザをご利用の場合でも、お客さまのご利用環境（設定、通信速度等）によっては正常に動作しない場合がございます。
- 本動作環境の記載内容はマイクロソフト社のサポート終了や新製品の発売等により変更となる場合があります。

3 用語集

本操作説明書内で使用される用語は以下のとおりです。

表 3-1 用語集

項番	用語	意味・説明
1	印刷ダイアログ	Windows 標準の [印刷] ダイアログ
2	コントロール	ラベルやテキストボックス等の画面や帳票を構成する部品
3	テンプレート	画面や帳票のレイアウトを定義するファイル群
4	構成情報	業務コード、または出力情報コードに対応し、有効日付、世代から使用するテンプレートを定義する情報
5	世代	出力情報コードをシステム内部で世代管理するためのもの 第 6 次 NACCS 以降は世代 1 から起算され、世代が上がるのは ACL 業務に仕様変更が生じた場合 世代 0（第 5 次 NACCS の出力情報）はカスタマイズ不可
6	分割テンプレート	項目数が多い画面、帳票用に実行時のパフォーマンス向上のため、一つの電文レイアウトを分割して複数のテンプレートで定義する機能
7	プロパティ	項目の詳細な設定値

3.1 パッケージソフトに組み込んだソフトウェア

パッケージソフトで帳票のバーコード印刷を行う際のライブラリとして、以下のソフトウェアを使用しています。

- DotNetBarcode V2.4.0（（株）デンソーウェーブ製）

4 ACL カスタマイズツール

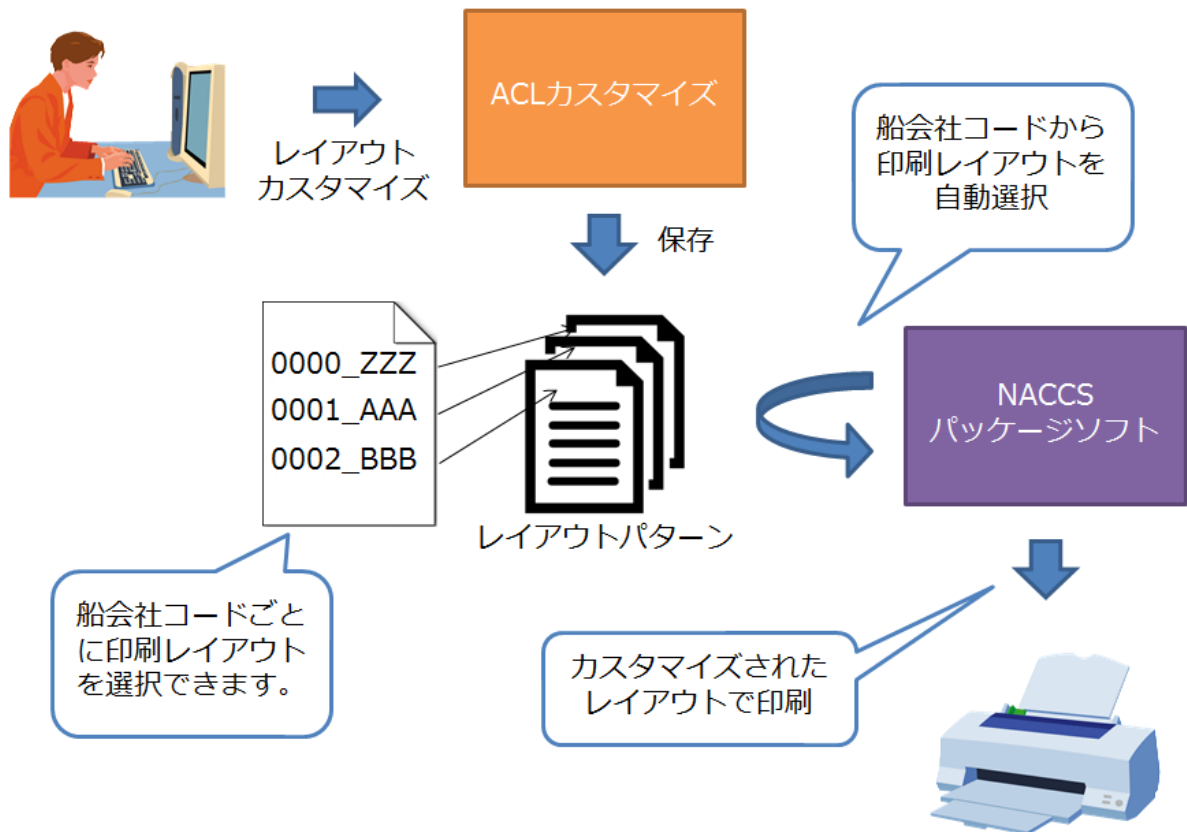
4.1 概要

ACL カスタマイズでは、ACL 業務の出力帳票レイアウトのカスタマイズを行うことができます。

ACL 業務では、帳票レイアウトをテンプレートと呼ばれるファイルで管理しているため、ACL カスタマイズもテンプレート単位でのカスタマイズを行います。1テンプレートで最大3ページのレイアウトをカスタマイズ可能です。

カスタマイズしたテンプレートはレイアウトパターンとして保存することができます。

保存したレイアウトパターンは、パッケージソフトでの手動印刷時に利用することができます。また、自動印刷時にレイアウトパターン名から船会社、または NVOCC を判断し、自動的にレイアウトパターンを選択して、印刷を行うことができます。



4.1.1 レイアウトパターン

ACL カスタマイズにてカスタマイズしたテンプレートは、レイアウトパターンとして保存されます。

レイアウトパターンは、帳票単位に複数保持することができ、パッケージソフトから利用する際、船会社ごとに使い分けることができます。

船会社ごとのレイアウトパターン名の使い分けは、船会社コードをレイアウトパターン名の先頭 4 桁に設定することで行えます。

- 先頭 4 桁が“船会社コード（半角英数字）”の場合、該当する船会社のみで使用されます。
- 先頭 4 桁が“0000”の場合、全船会社共通の「共用パターン」となります。

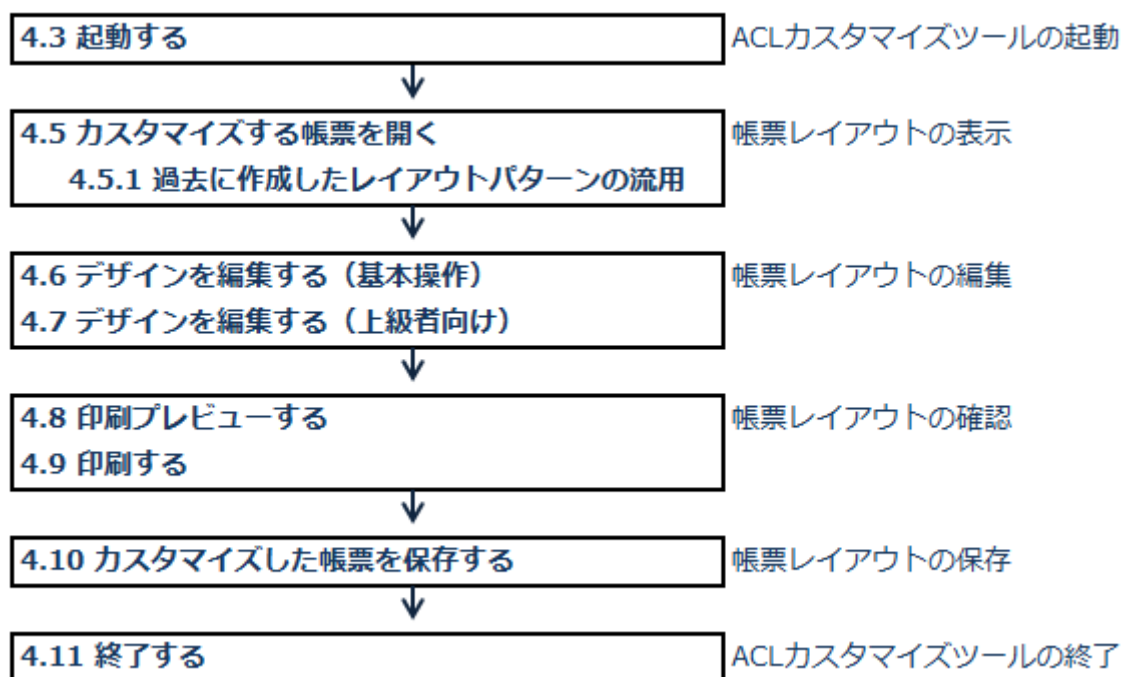
※ 船会社ごとのレイアウトパターンは、1 帳票あたり 1 つのみです。（船会社コードが同一のパターン名は複数設定できません。）

※ 該当する船会社コードのレイアウトパターンが存在しない場合、全船会社共通の「共用パターン」が利用されます。

※ 先頭 4 桁を船会社コードとしない場合、パッケージソフトから自動的に利用されることはありません。（手動で利用することは可能です。）

4.2 基本フロー

ACL カスタマイズで帳票レイアウトのカスタマイズを行う際の操作フローを以下に示します。
各操作の内容は以降の節で説明します。



カスタマイズした帳票レイアウトをパッケージソフトから利用する方法については「5 NACCS
パッケージソフトからの利用」を参照してください。

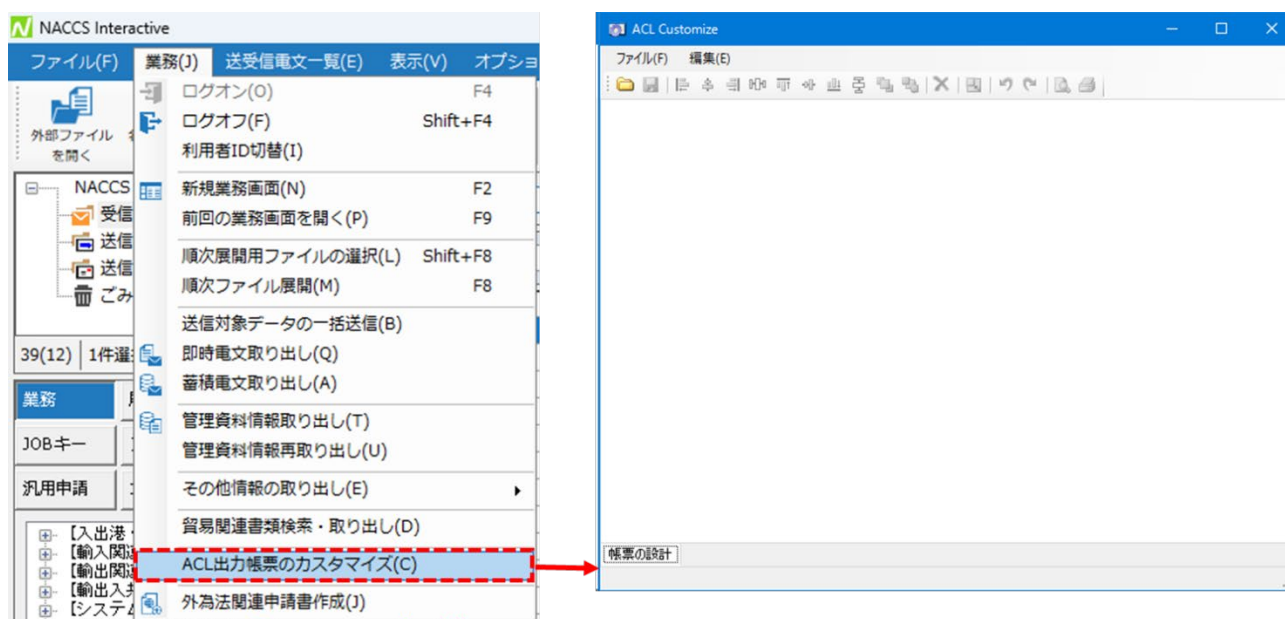
4.3 起動する

(1) 機能概要

ACL カスタマイズを起動します。

(2) 操作

1. パッケージソフトのメインメニュー [業務 | ACL 出力帳票のカスタマイズ] を選択することで、ACL カスタマイズが起動します。



4.4 画面構成

ACL カスタマイズの画面構成は以下のとおりです。

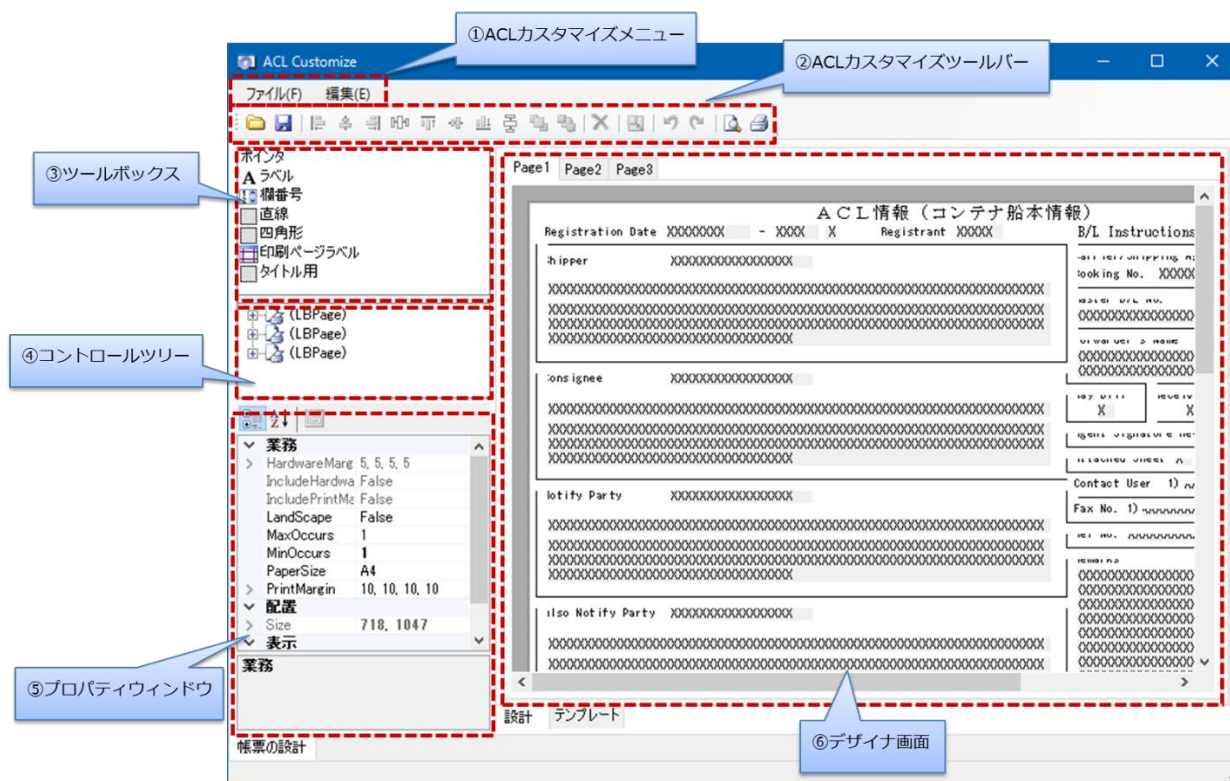


表 4-1 項目の説明（ACL カスタマイズ画面構成）

項番	項目名	説明
①	ACL カスタマイズメニュー	各機能のメニューを表示します。
②	ACL カスタマイズツールバー	ACL カスタマイズメニューのうち選択可能なツールを表示します。
③	ツールボックス	ラベルや野線等の、デザイナー部品の一覧を表示します。
④	コントロールツリー	デザイナー画面に表示された全項目を階層構造で表示します。
⑤	プロパティウィンドウ	デザイナー画面上で選択された項目のプロパティ一覧を表示します。
⑥	デザイナー画面	選択されたテンプレートを表示し、編集を行う画面です。

4.4.1 ACL カスタマイズメニュー

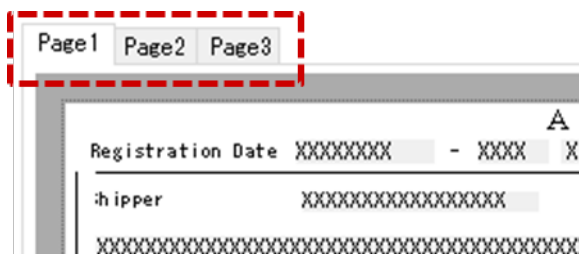
ACL カスタマイズの機能は、ACL カスタマイズメニューから選択して実行します。

ACL カスタマイズメニューについては、「7 ACL カスタマイズメニュー」を参照してください。

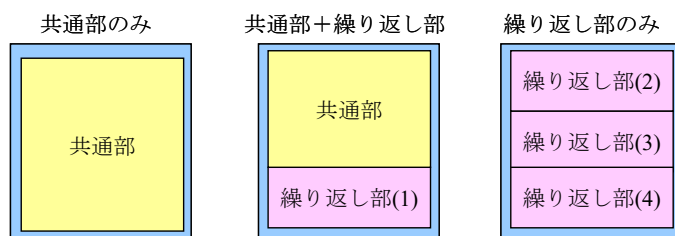
4.4.2 デザイン画面構成

デザイナー画面構成は1つのテンプレートに対し、Page 1 から Page 3 までの3つのページレイアウトとなります。

ページレイアウト間の項目の移動・貼り付けは、[コントロール追加] ダイアログでの操作でのみ可能となります（「4.6.10 初期デザイン上にある項目を追加する」を参照してください）。



また、各ページレイアウトが持ちうる構成は、以下の3種類のレイアウトから選択可能です。



※ 繰返部とは、コンテナ情報、車台番号等情報を指します。

- 項目位置の移動は、同一テンプレート内のみ可能です。
- 繰返部は1テンプレートにつき1種類までとなります。
- 繰返部内の繰返しはできません。

4.5 カスタマイズする帳票を開く

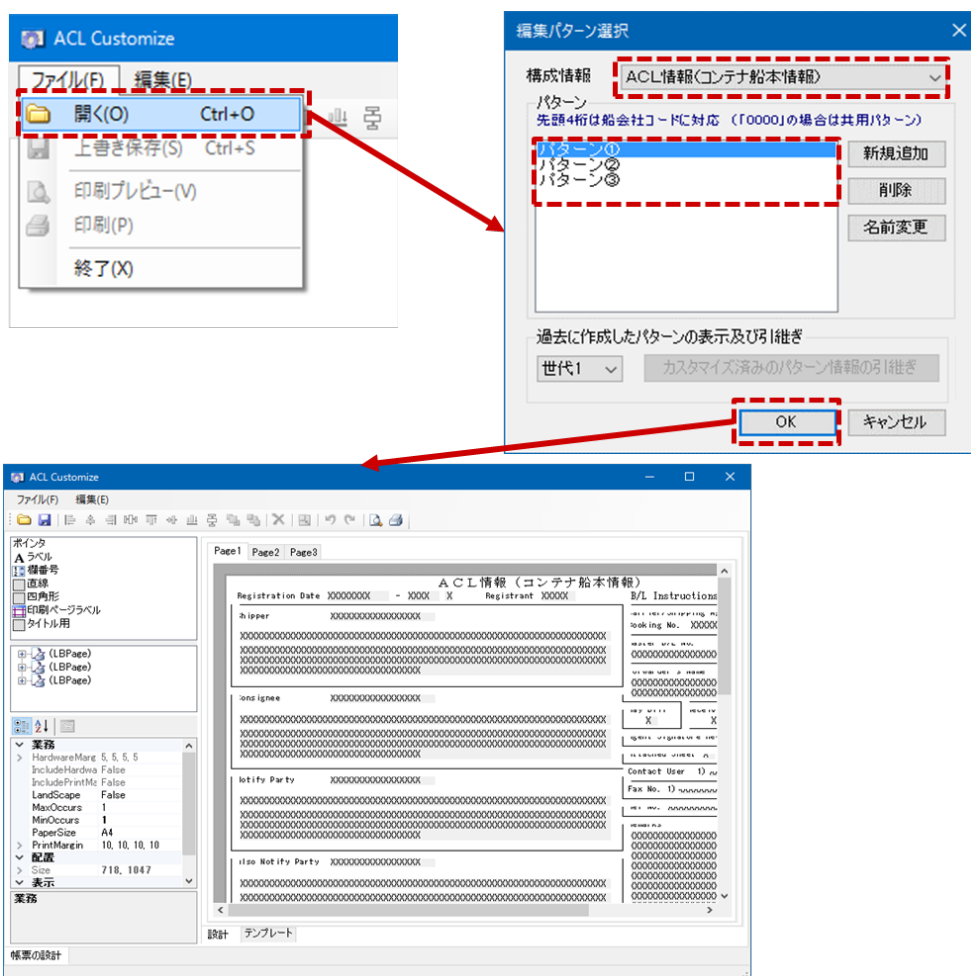
(1) 機能概要

カスタマイズを行う帳票のテンプレートファイルを選択し、帳票レイアウトをデザイナー画面に表示します。

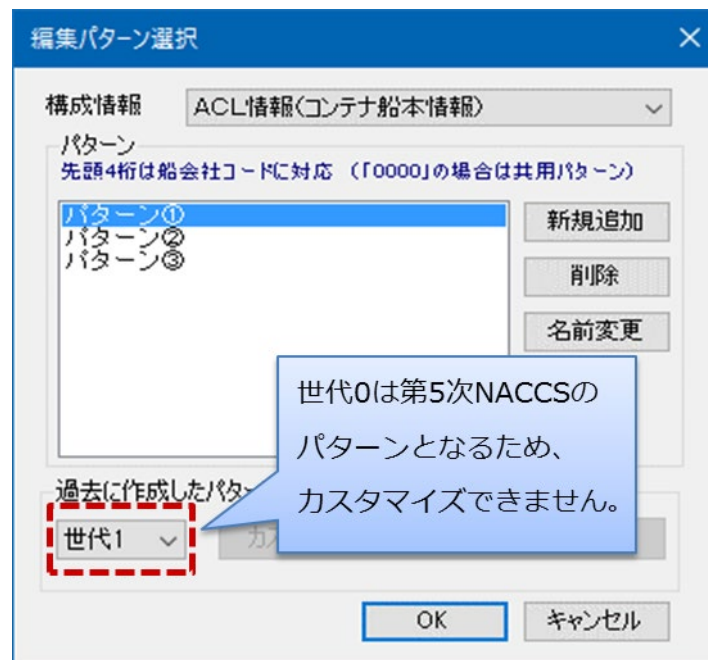
(2) 操作

(A) カスタマイズ済の帳票レイアウトを表示する場合

1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 開く] を選択します。
2. [編集パターン選択] ダイアログが表示されますので、構成情報よりカスタマイズを行う帳票名を選択します。
3. 作成済みのレイアウトパターンが表示されますので、カスタマイズを行うレイアウトパターンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
4. デザイナー画面に選択した帳票レイアウトが表示されます。

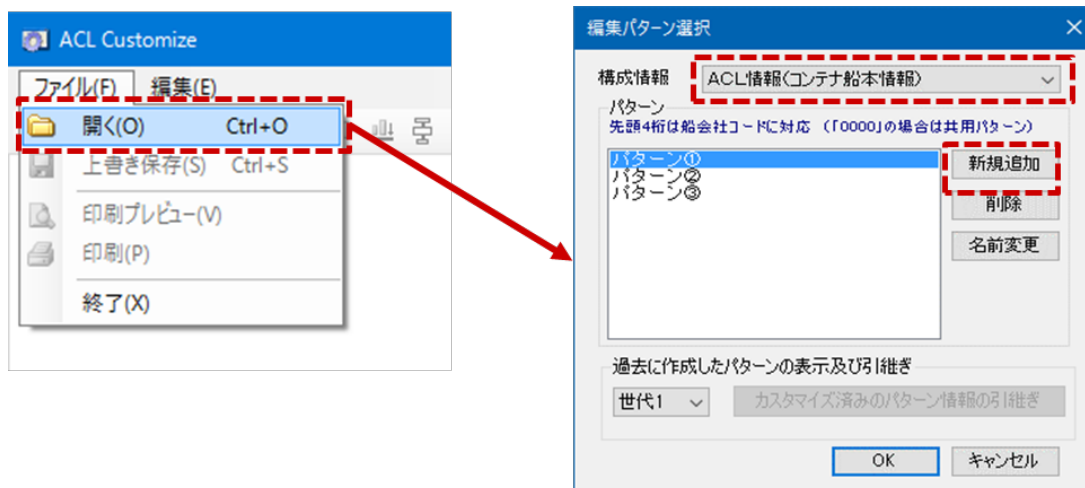


- 構成情報に世代が複数ある場合、初期状態では最新世代が選択されています。過去世代のカスタマイズ済の帳票レイアウトを表示する場合、当該世代を選択する必要があります。

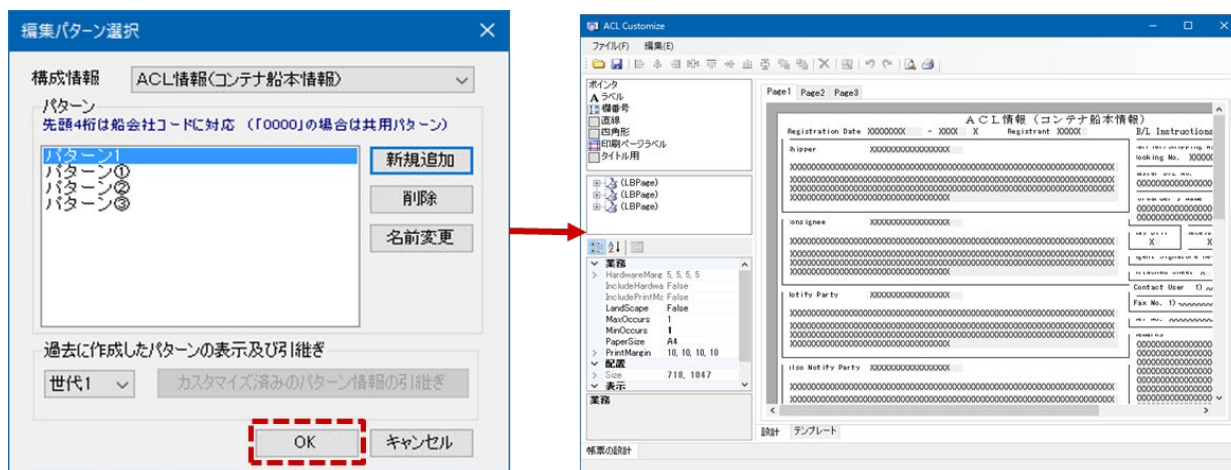


(B) 新規に帳票レイアウトを作成する場合

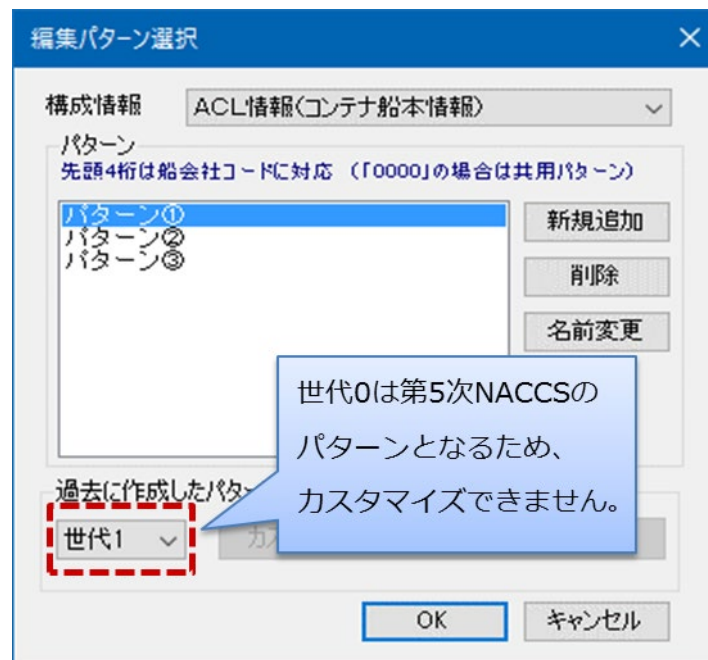
1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 開く] を選択します。
2. [編集パターン選択] ダイアログが表示されますので、構成情報よりカスタマイズを行う帳票名を選択し、[新規追加] ボタンをクリックします。



3. 新規パターンが追加されますので、選択して、[OK] ボタンをクリックします。
4. デザイン画面に帳票レイアウトが表示されます。

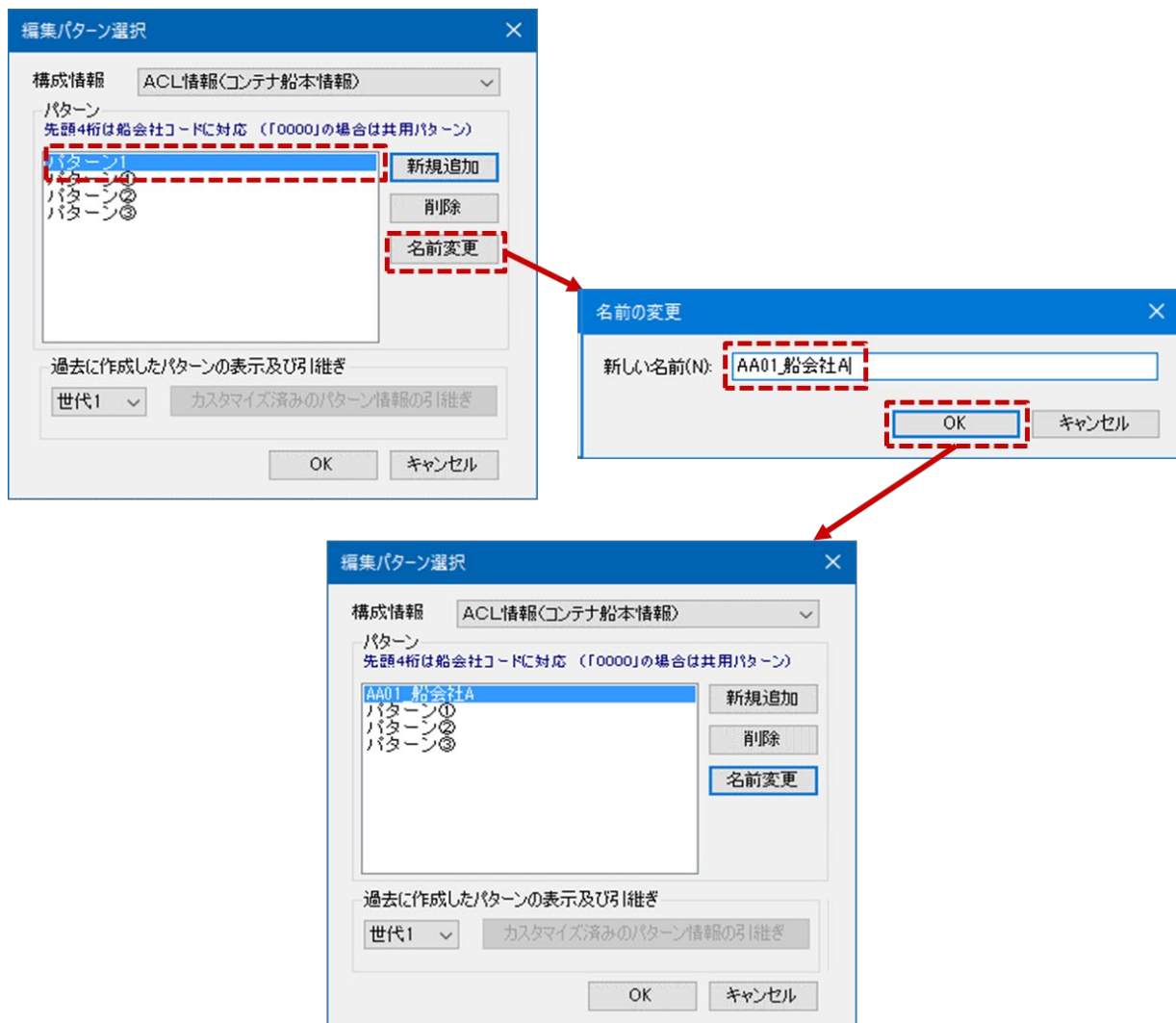


- 構成情報に世代が複数ある場合、初期状態では最新世代が選択されています。過去世代の帳票レイアウトを新規作成する場合、当該世代を選択する必要があります。



(C) パターン名を変更する

1. 「編集パターン選択」ダイアログにて、パターン名を選択し、「名前変更」ボタンをクリックします。
2. 「名前の変更」ダイアログが表示されますので、命名規則（「4.1.1 レイアウトパターン」を参照してください。）にしたがって、名前を入力します。
3. 「OK」ボタンをクリックすると名前が変更されます。



4.5.1 過去に作成したレイアウトパターンの引き継ぎ

(1) 機能概要

電文仕様変更となり、テンプレートの世代が上がった場合、過去に作成したレイアウトパターンを用いて、帳票印刷することができなくなります。

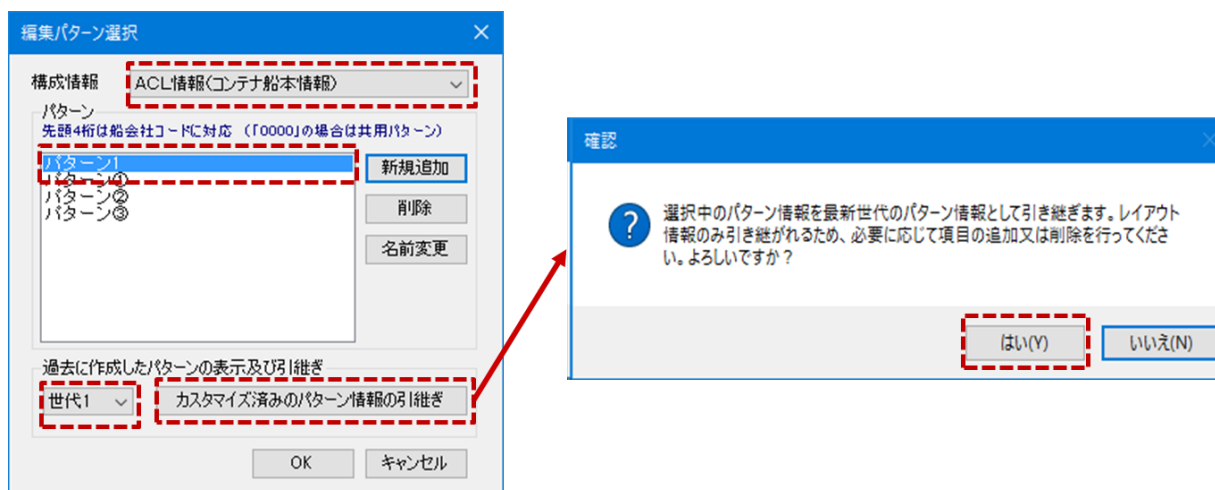
そこで過去に作成したレイアウトパターンを最新世代へ引き継ぎ、最新世代でも利用できるようにします。

電文仕様の変更後、レイアウトパターンの引継ぎ、および最新世代テンプレートのカスタマイズを行う場合、パッケージソフトのバージョンアップが必要となります。（バージョンアップについては「NACCS パッケージソフト操作説明書 9 バージョンアップ」を参照してください。）

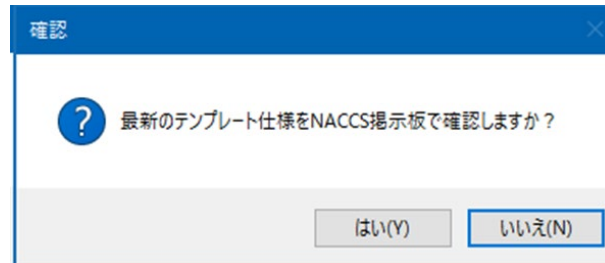
(2) 操作

例：世代 1 → 世代 2 への引継ぎ

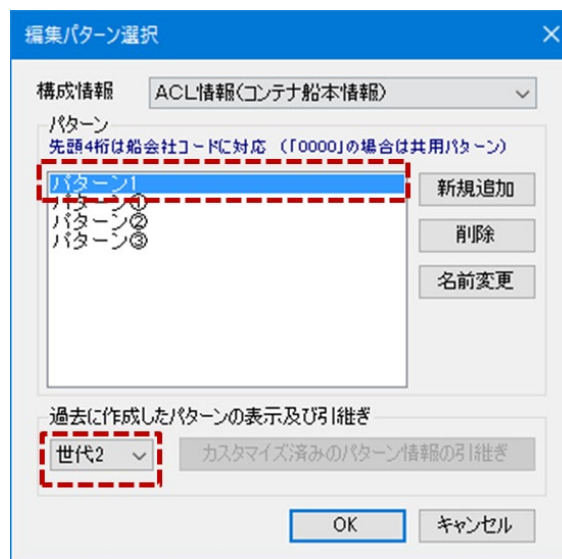
1. [編集パターン選択] ダイアログにて、構成情報より引き継ぎを行いたい帳票名を選択します。
2. [過去に作成したパターンの表示及び引継ぎ] で世代 1 を選択します。
3. 引継ぎを行いたいレイアウトパターンを選択し、[カスタマイズ済みのパターン情報の引継ぎ] をクリックします。
4. [確認] ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。



5. [確認] ダイアログが表示されますので、最新のテンプレート仕様を確認したい場合は[はい] ボタンをクリックしてください。既定の Web ブラウザにて、NACCS 掲示板が開かれます。
- 確認しない場合は[いいえ] ボタンをクリックしてください。



6. 世代 2 に選択したレイアウトパターンが引き継がれます。



- ※ 変更のあった項目については、引継後のパターンに自動的に反映されないため、改めて[デザイナ]画面に反映(追加、削除)する必要があります。
- ※ 第 6 次 NACCS パッケージソフトで作成したカスタマイズパターンを、第 7 次 NACCS パッケージソフトに引き継ぐ場合も、変更のあった項目については、改めて[デザイナ]画面に反映(追加、削除)する必要があります。

- 新たに項目が追加となった場合には、[コントロールの追加]で該当項目を新たに配置します。
- 既存の項目が変更となった場合には、該当項目を削除してから[コントロールの追加]で当該項目を配置しなおします。
- 既存の項目が削除となった場合には、該当項目を削除します。

4.6 デザインを編集する

本節では、ACL カスタマイズで帳票レイアウトをカスタマイズするための必要最低限の操作について説明します。

ACL カスタマイズでは、以下の項目（入力部品）を操作し、レイアウトをカスタマイズすることができます。

表 4-2 項目一覧

項番	項目	内容	ツールボックスから追加
1	テキストボックス	電文データが表示されます。 各編集形式で編集することが可能です。	—
2	ラベル（項目タイトル）	項目のタイトルが表示されます。 ラベルの追加、削除、ラベル名の変更等、編集することが可能です。	○
3	欄番号	繰返部に現在の欄番号が表示されます。 繰返部のみに配置可能です。	○
4	直線	直線が表示されます。 罫線を引きたい場合等に使用します。	○
5	四角形	四角形が表示されます。 枠線を設定したい場合等に使用します。	○
6	印刷ページラベル	各ページに共通したラベルを設定できます。 設定可能な内容の詳細は「表 4-7 印刷ページラベルの設定内容」を参照してください。	○
7	タイトル用	タイトル用の欄パネルです。 同一のタイトルラベルを横方向に繰り返したい場合に使用します。	○

4.6.1 項目を選択する

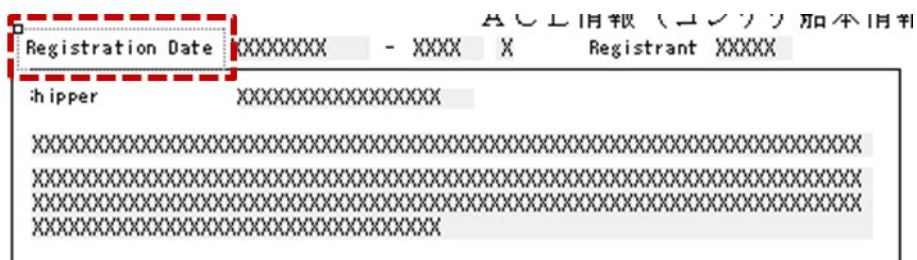
(1) 機能概要

項目を選択状態にします。

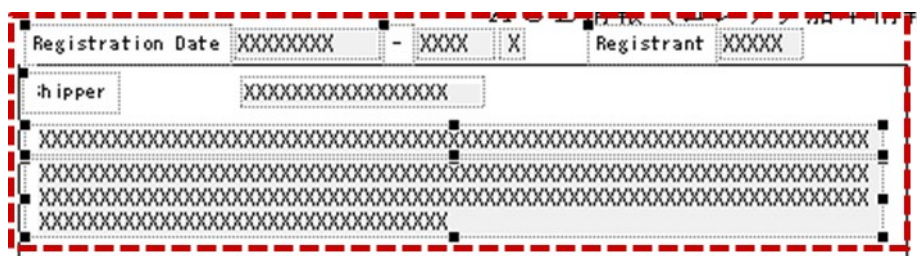
※ 直線を選択した場合のみ、直線は最前面に配置されます。選択解除することで、最背面に配置されます。

(2) 操作

1. 項目をクリックします。
2. クリックした項目が選択状態になります

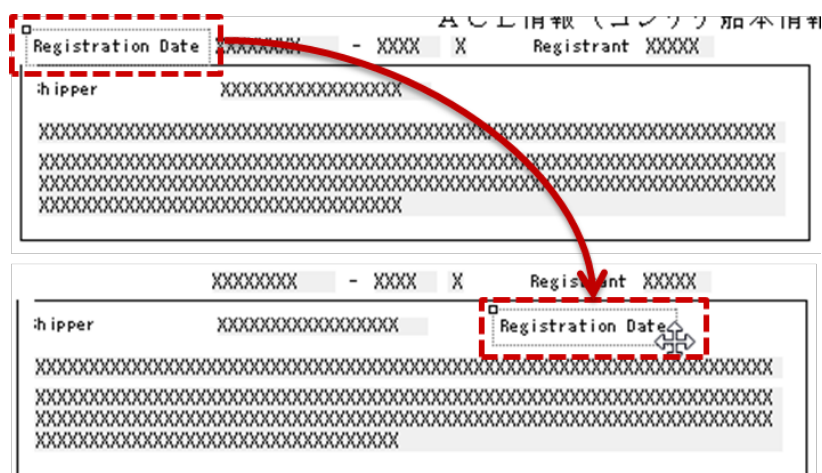


- ドラッグしながら複数の項目を選択することで、複数の項目を選択状態にすることが出来ます。



(2) 操作

1. 目的の項目をドラッグ&ドロップで移動します。



- 複数の項目を選択後、ドラッグ&ドロップすることで、複数の項目を移動することができます。

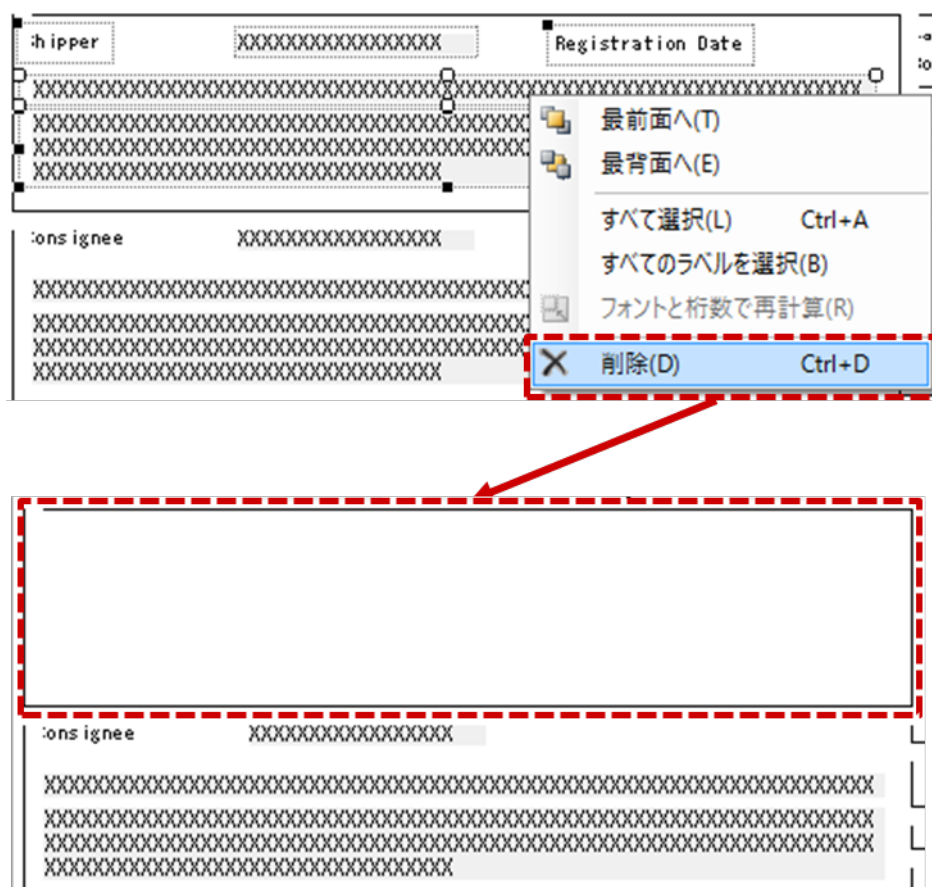
4.6.3 項目を削除する

(1) 機能概要

選択している項目を削除します。複数選択することで複数削除できます。

(2) 操作

1. 目的の項目を選択します。
2. 右クリックメニューの「削除」を選択します。
3. 選択した項目が削除されます。



- [Ctrl] + D でも削除可能です。

4.6.4 項目を整列する

(1) 機能概要

選択している複数の項目の整列を行います。整列方法は以下のとおりです。

表 4-3 整列方法

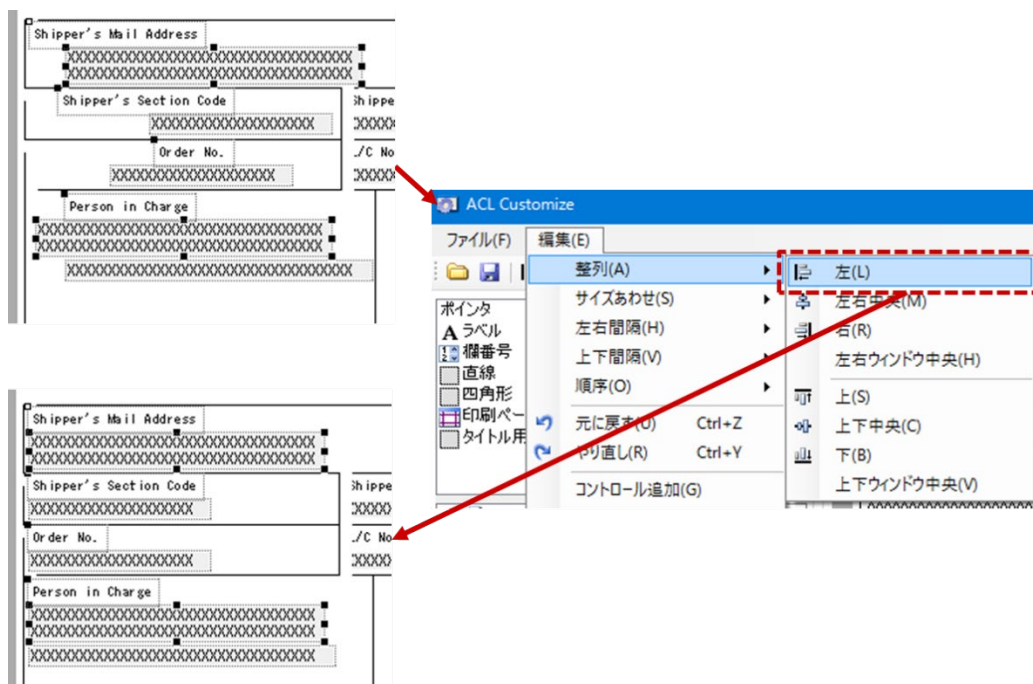
項番	メニュー	内容
1	編集 整列 - 左	選択中の項目を左揃えにします。(※)
2	編集 整列 - 左右中央	選択中の項目を選択範囲の水平方向の中心に揃えます。(※)
3	編集 整列 - 右	選択中の項目を右揃えにします。(※)
4	編集 整列 - 左右ウィンドウ中央	選択中の項目をウィンドウの水平方向の中心に揃えます。
5	編集 整列 - 上	選択中の項目の上部の辺を揃えます。(※)
6	編集 整列 - 上下中央	選択中の項目を選択範囲の垂直方向の中心に揃えます。(※)
7	編集 整列 - 下	選択中の項目の下部の辺を揃えます。(※)
8	編集 整列 - 上下ウィンドウ中央	選択中の項目をウィンドウの垂直方向の中心に揃えます。

※ 最初に選択した項目が基準の位置となります。

(2) 操作

例：項目を左揃えにする

1. 左揃えにしたい項目を選択します。
2. ACL カスタマイズメニュー [編集 | 整列] - [左] を選択します。
3. 最初に選択した項目の位置を基準とし、左揃えに整列されます。



4.6.5 項目のサイズを変更する

(1) 機能概要

選択している項目のサイズ（幅）を変更します。

(2) 操作

1. 項目の端でドラッグして、左右に動かしてサイズを変更します。



4.6.6 項目のサイズをあわせる

(1) 機能概要

選択している複数の項目のサイズをあわせます。

サイズあわせの方法は以下のとおりです。

表 4-4 サイズあわせの方法

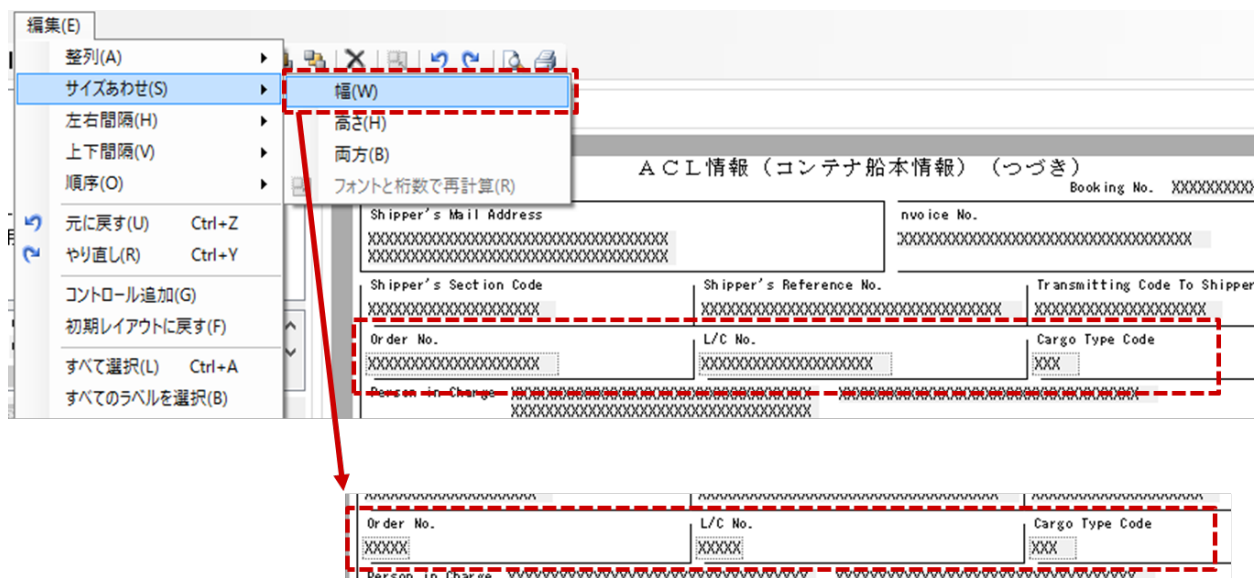
項番	メニュー	内容
1	編集 サイズあわせ－幅	選択中の項目の幅を揃えます。（※）
2	編集 サイズあわせ－高さ	選択中の項目の高さを揃えます。（※）
3	編集 サイズあわせ－両方	選択中の項目の幅と高さを揃えます。（※）
4	編集 サイズあわせ－フォントと桁数で再計算	選択中の項目の幅と高さをそれぞれ設定されたフォントサイズ・桁数で再計算した値にします。

※ 最初に選択した項目が基準の位置となります。

(2) 操作

例：項目の幅をあわせる

1. 幅をあわせたい項目を選択します。
2. ACL カスタマイズメニュー [編集 | サイズあわせ] - [幅] を選択します。
3. 最初に選択した項目の幅を基準とし、幅が統一されます。



4.6.7 項目の間隔を調整する

(1) 機能概要

選択している複数の項目の間隔を調整します。

間隔調整の方法は以下のとおりです。

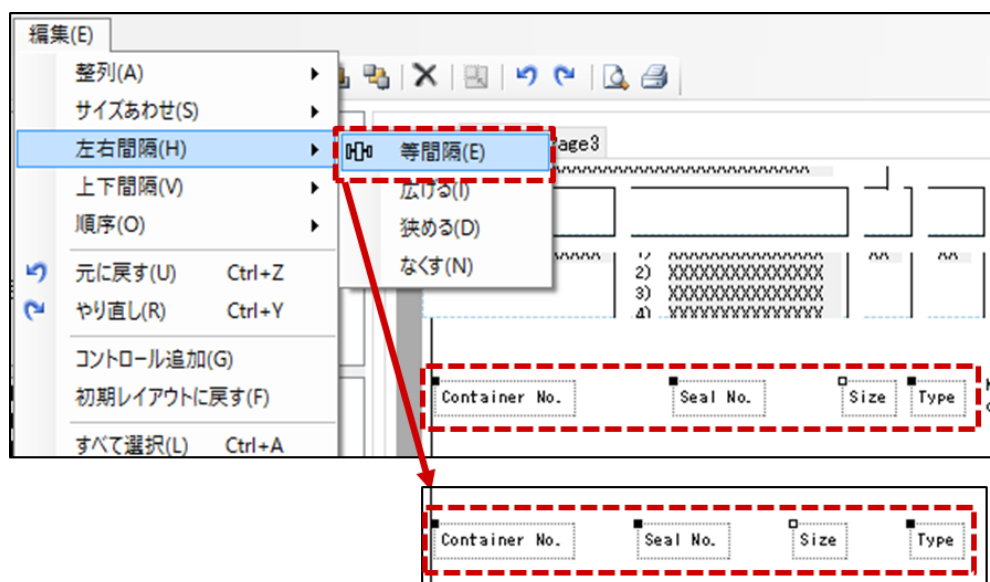
表 4-5 間隔調整の方法

項番	メニュー	内容
1	編集 左右間隔 – 等間隔	選択中の項目の左右間隔を等間隔にします。
2	編集 左右間隔 – 広げる	選択中の項目の左右間隔をそれぞれ 8 ピクセル広げます。
3	編集 左右間隔 – 狭める	選択中の項目の左右間隔をそれぞれ 8 ピクセル狭めます。
4	編集 左右間隔 – なくす	選択中の項目の左右間隔をそれぞれ 0 ピクセルにします。
5	編集 上下間隔 – 等間隔	選択中の項目の上下間隔を等間隔にします。
6	編集 上下間隔 – 広げる	選択中の項目の上下間隔をそれぞれ 8 ピクセル広げます。
7	編集 上下間隔 – 狭める	選択中の項目の上下間隔をそれぞれ 8 ピクセル狭めます。
8	編集 上下間隔 – なくす	選択中の項目の上下間隔をそれぞれ 0 ピクセルにします。

(2) 操作

例：左右の間隔を等間隔にする

1. 等間隔にしたい項目を選択します。
2. ACL カスタマイズメニュー [編集 | 左右間隔] – [等間隔] を選択します。
3. 選択した項目の間隔が統一されます。



4.6.8 項目の順序を変更する

(1) 機能概要

項目の順序（項目を重ねた場合の表示順）を変更します。

項目順序の変更の方法は以下のとおりです。

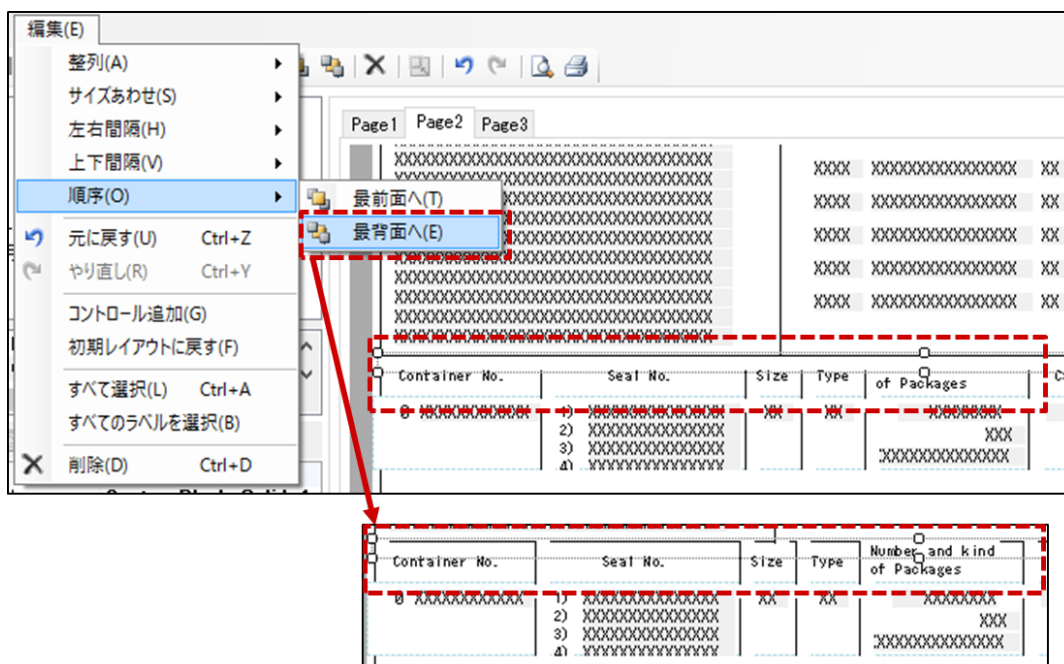
表 4-6 項目順序の変更

項番	メニュー	内容
1	編集 順序 – 最前面へ	選択中の項目を最前面に配置します。
2	編集 順序 – 最背面へ	選択中の項目を最背面に配置します。

(2) 操作

例：最背面へ配置する

1. 最背面へ配置したい項目を選択します。
2. ACL カスタマイズメニュー [編集 | 順序] – [最背面へ] を選択します。
3. 選択した項目が最背面に配置されます。



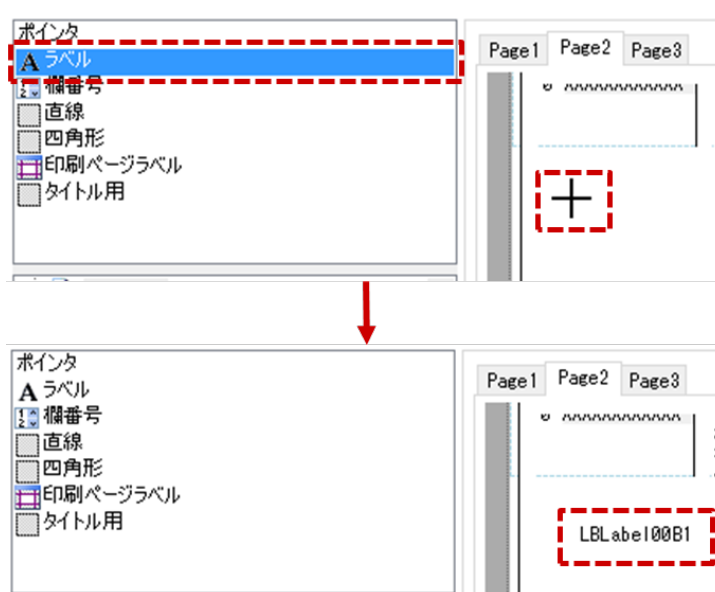
4.6.9 ツールボックス上の項目を追加する

(1) 機能概要

ツールボックス上にある項目をデザイナー画面上に追加します。

(2) 操作

1. ツールボックス上にある追加したい項目を選択します。
2. マウスポインター「+」を、デザイナー画面上で項目を配置したい位置までを移動します。
3. クリックすると「+」の位置へ選択した項目が配置されます。



- 項目の詳細設定（表示内容の変更等）についてはプロパティウィンドウにて行います。詳細は「4.6.12 項目の詳細設定を行う」を参照してください。

4.6.10 初期デザイン上にある項目を追加する

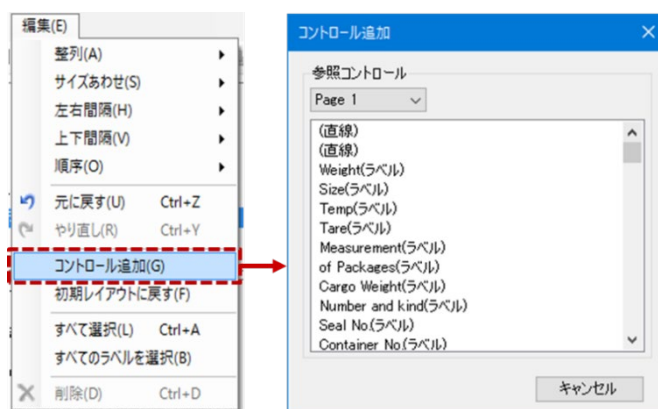
(1) 機能概要

〔コントロール追加〕ダイアログにより、初期デザイン上にある項目をドラッグ&ドロップでデザイナー画面上に追加します。

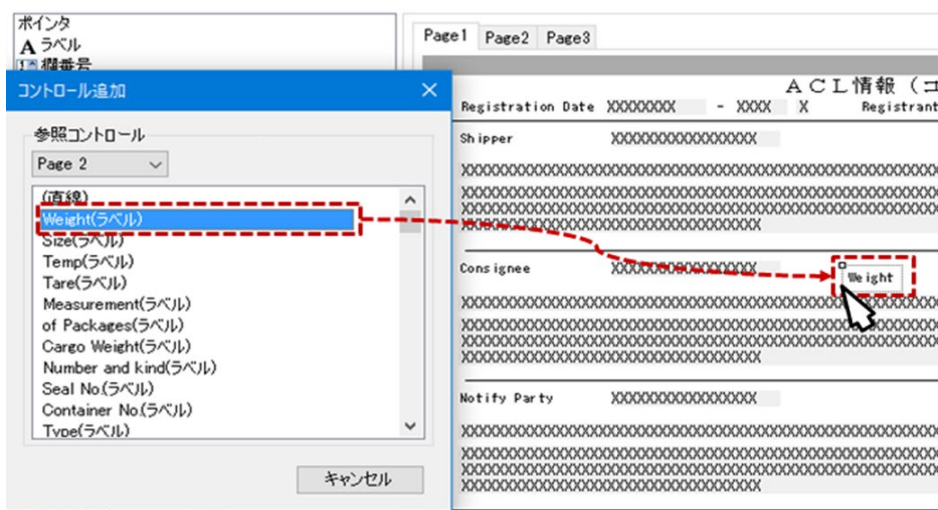
(2) 操作

例：ページ 2 にある項目をページ 1 へ追加する

1. ACL カスタマイズメニュー〔編集 | コントロール追加〕を選択すると、〔コントロール追加〕ダイアログが表示されます。



2. 〔参照コントロール〕で〔Page 2〕（追加したい項目があるページ）を選択します。
3. 選択した項目を、〔Page 1〕へドラッグ&ドロップします。
4. 〔Page 1〕へドラッグ&ドロップした項目が追加されますので、位置を調整します。



- 
- 複数の項目を選択し、ドラッグ&ドロップすることで、選択した項目を一括で追加することができます。
 - 選択した項目が繰返部パネルの場合、当該繰返部に含まれる項目が一括で追加されます。繰返部パネル設定の詳細は「4.6.16 繰返部の印字方法を設定する」～「4.6.19 繰返しデータがあるページまで印刷する」を参照してください。
- ※ 繰返部パネル内の項目は個別に貼り付けられません。
- ※ 繰返部パネル内のデータ項目はパネル外に移動できません。

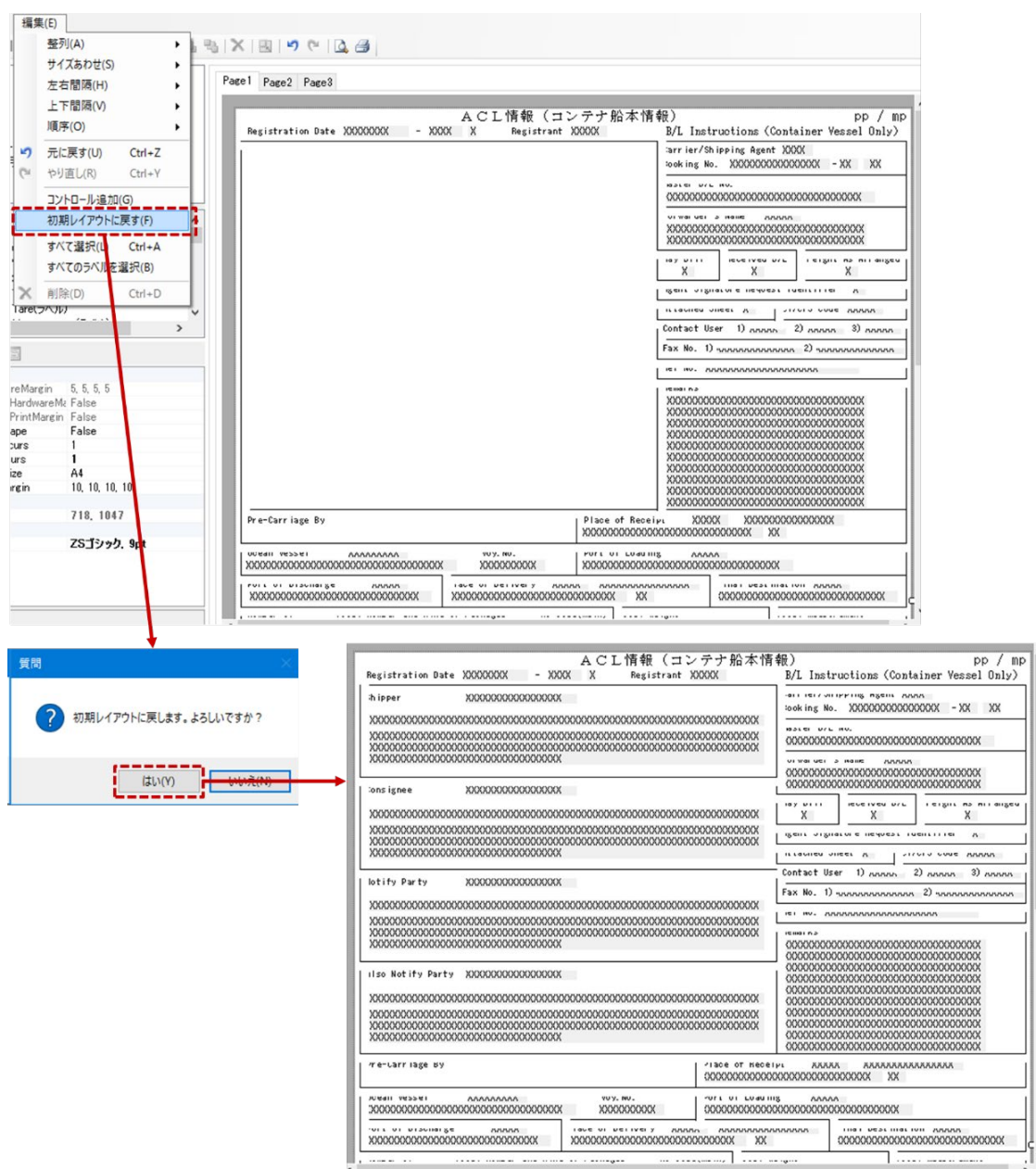
4.6.11 初期レイアウトに戻す

(1) 機能概要

現在デザイン画面に表示されているデザインを破棄し、初期レイアウトに戻します。

(2) 操作

1. ACL カスタマイズメニュー [編集 | 初期レイアウトへ戻す] を選択します。
2. [確認] ダイアログが表示されますので、[はい] ボタンをクリックします。
3. 編集したデザインが初期レイアウトに戻ります。



4.6.12 項目の詳細設定を行う

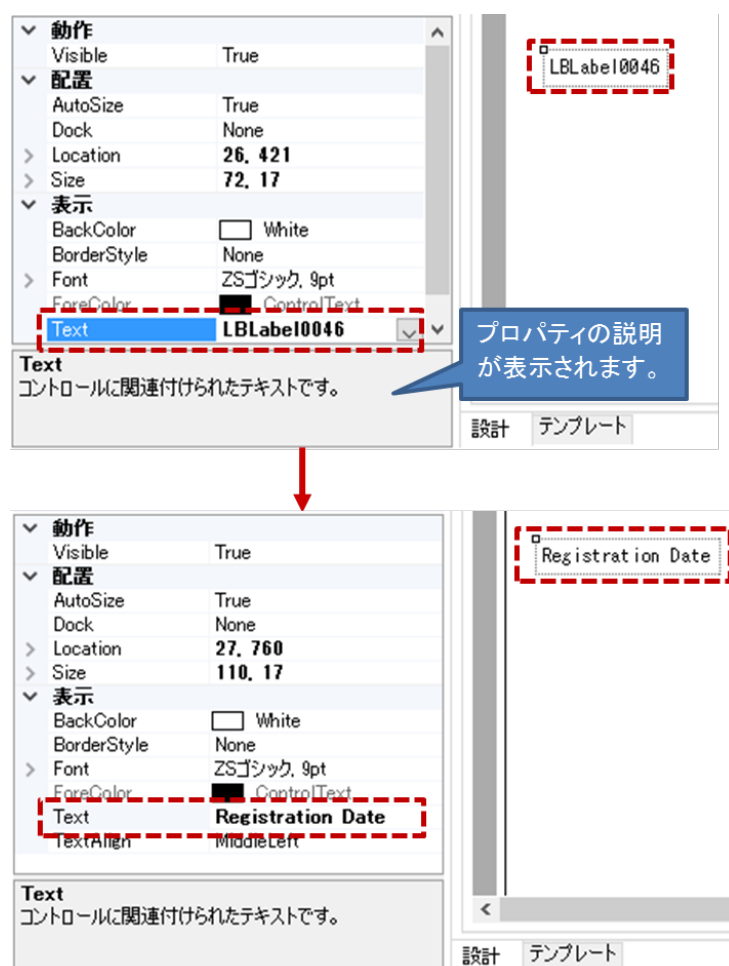
(1) 機能概要

デザイナー画面上では設定できない詳細な設定（以下、プロパティ）をプロパティウィンドウにて設定します。

(2) 操作

例：ラベルの文字を変更する

1. ラベルの文字を変更したい項目を選択します。
2. プロパティウィンドウの「Text」に表示したい内容を入力します。
3. 入力した内容がラベルに表示されます。



- 変更可能なプロパティについては「＜別紙 1＞ACL カスタマイズ詳細設定一覧」を参照してください。

4.6.13 文字を途中で折り返して表示する

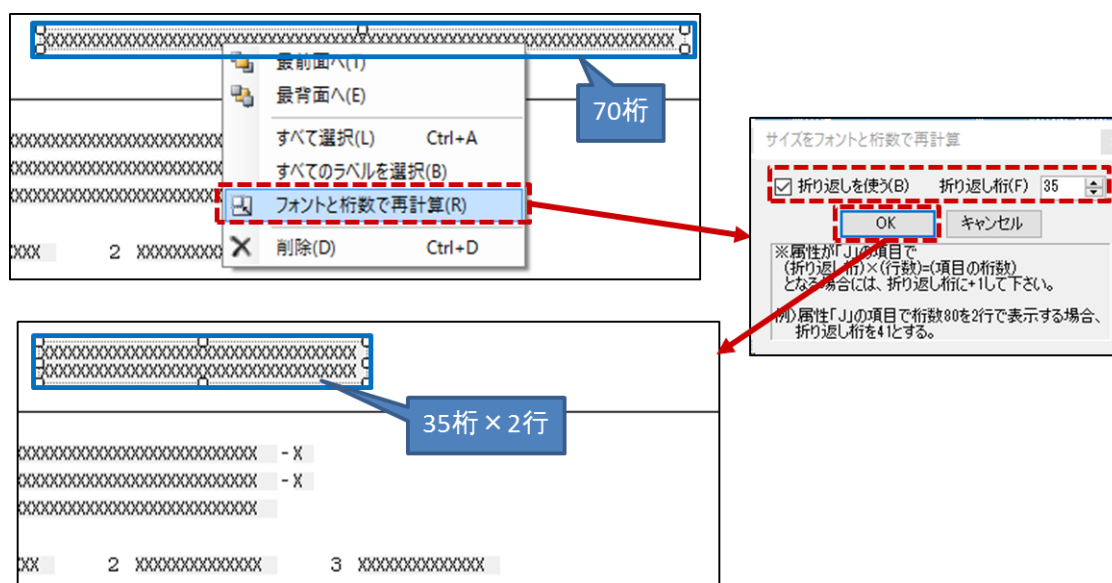
(1) 機能概要

文字数が多く、複数行で表示したい場合に指定した桁で文字を折り返して、複数行で表示できます。折り返す桁は自由に設定できます。

(2) 操作

例：「35」桁で折り返して表示する

1. 折り返して表示したいテキストボックスを選択して、右クリックメニュー「フォントと桁数で再計算」を選択します。
2. 「サイズをフォントと桁数で再計算」ダイアログが表示されますので、チェックボックスを「ON」、折り返し桁に「35」を設定して、[OK] ボタンをクリックします。
3. 選択したテキストボックスが設定した桁数で折り返され、複数行で表示されます。



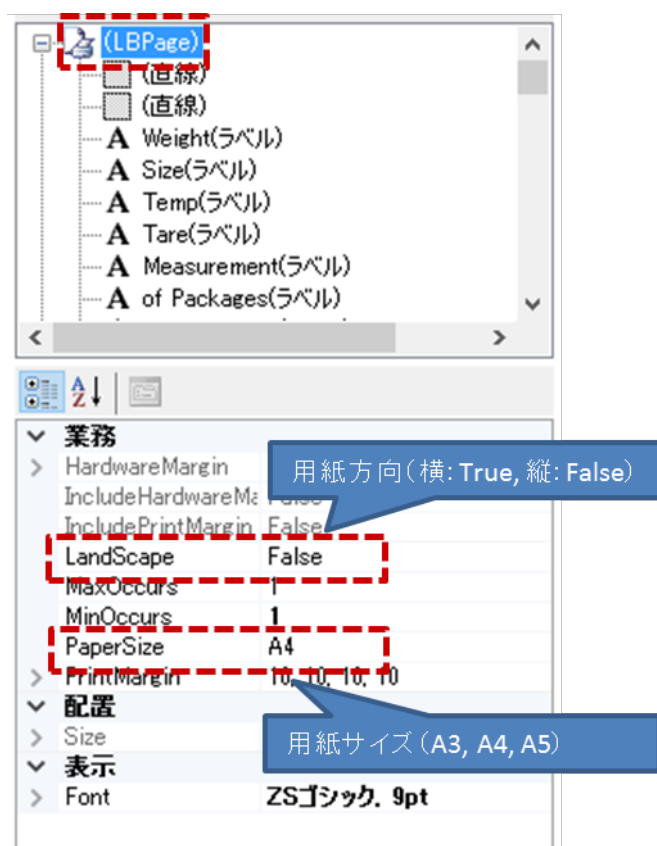
4.6.14 用紙サイズを設定する

(1) 機能概要

ページ単位に用紙サイズと印刷方向を設定します。プロパティウィンドウにて設定できます。

(2) 操作

1. コントロールツリーで目的のページを選択します。
2. プロパティウィンドウのプロパティ [LandScape] と [PaperSize] を設定します。



- 設定可能用紙方向：横（True）、縦（False）
- 設定可能用紙サイズ：A3、A4、A5

4.6.15 ヘッダ／フッタを設定する

(1) 機能概要

ACL カスタマイズに、ヘッダ／フッタの項目は存在しませんが、[印刷ページラベル] を用いることで、ヘッダ／フッタの代用ができます。

[印刷ページラベル] は、プロパティの [PageFormat] で指定した情報が表示されます。[PageFormat] で指定できる内容は以下のとおりです。

表 4-7 印刷ページラベルの設定内容

項番	書式	意味	描画（印刷時に表示）される内容
1	Page	ページ番号	ページ番号を描画します。
2	PageMax	総ページ	総ページを描画します。
3	PageProgress	ページ番号／総ページ	"ページ番号／総ページ"を描画します。
4	PageTitle	ページタイトル	text プロパティに入力した文字列をページのタイトルとして描画します。（※1）
5	PageTitle2	ページタイトル 2	text プロパティに入力した文字列をページのタイトルとして描画します。（※1）
6	PrintDate	印刷日付	印刷（印刷プレビュー）日付を yyyy/mm/dd で描画します。（※2） 例：2017/10/01
7	PrintTime	印刷時刻	印刷（印刷プレビュー）時刻を hh:mm:ss で描画します。（※2） 例：12:34:56
8	FileName	ファイル名	テンプレートのファイル名を描画します。
9	JobCode	業務コード	業務コードを描画します。
10	JobName	業務名称	業務名称を描画します。

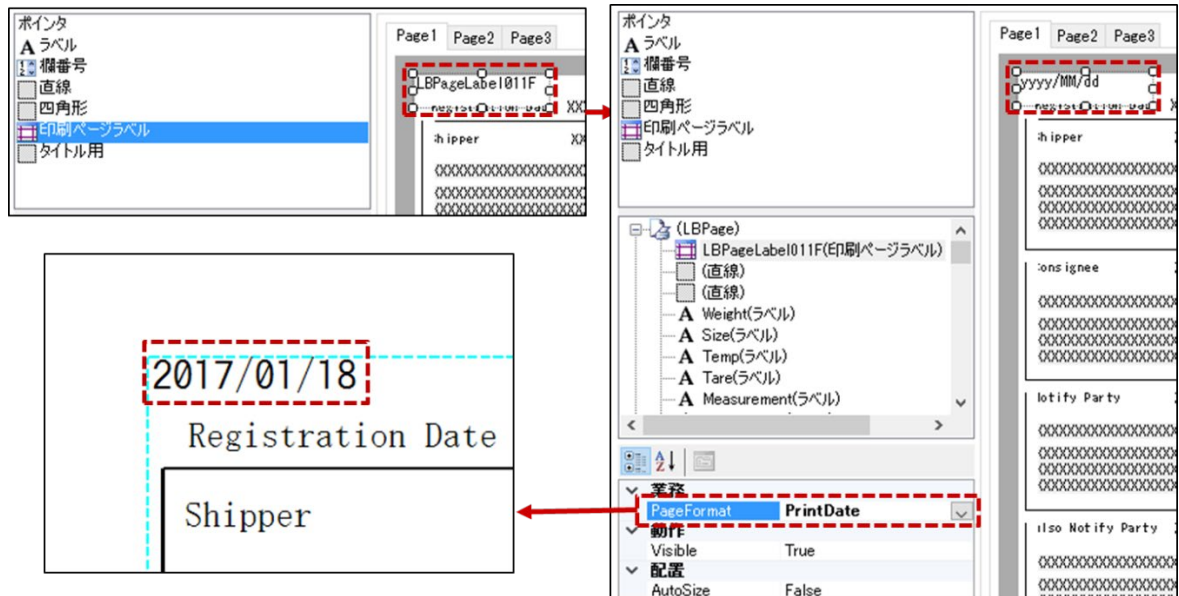
※1 ACL カスタマイズ上設定は可能ですが、パッケージソフトのメニューから印刷（印刷プレビュー）する場合は反映されません。

※2 ACL カスタマイズ上で印刷（印刷プレビュー）を実施すると、現在日時が描画されますが、パッケージソフトのメニューから印刷（印刷プレビュー）する際には、パッケージソフトの送受信電文一覧に登録された日時が描画されます。

(2) 操作

例：印刷日付を追加する

1. ツールボックスから「印刷ページラベル」をデザイナー画面に追加します。
2. 追加した「印刷ページラベル」のプロパティ「PageFormat」に「PrintDate」を指定します。
3. ACL カスタマイズメニュー「ファイル | 印刷プレビュー」を選択すると、「印刷ページラベル」を配置した箇所に「印刷日付」が表示されます。



※ 印刷日付の描画内容については「表 4-7 印刷ページラベルの設定内容」を参照してください。

4.6.16 繰返部の印字方法を設定する

(1) 機能概要

帳票上に繰返部を縦方向と横方向、それぞれに設定した数だけ表示します。

(1) 操作

1. 目的の「繰返部パネル」を選択します。
2. 選択した「繰返部パネル」のプロパティ「RepX」、および「RepY」を設定します。（「RepX」は横方向の繰返数、「RepY」は縦方向の繰返数の項目です）

The screenshot shows the 'ACL Information (Container Ship Information)' panel in the software interface. The panel is titled 'ACL情報(コンテナ船本情報)' and contains a table with columns 'Container No.', 'Ship No.', 'Type', and 'Status'. The table has 4 rows of data. The 'RepX' property is set to 2 and 'RepY' is set to 10. A callout box highlights these settings.

Container No.	Ship No.	Type	Status
0 XXXXXXXXXXXXXXXX	1) XXXXXXXXXXXXXXXX	XX	XX
	2) XXXXXXXXXXXXXXXX		
	3) XXXXXXXXXXXXXXXX		
	4) XXXXXXXXXXXXXXXX		

Properties of the selected panel:

Property	Value
Count	200
Offset	0
repetition_id	R01
repetition_max	200
RepX	2
RepY	10
SpaceX	0
SpaceY	1

- 「SpaceX」、および「SpaceY」で繰返部の間隔を設定することができます。

例：[RepX] =2、[RepY] =10、[SpaceX] =0、[SpaceY] =1の場合
横に2列、縦に10行、横の間隔が0、縦の間隔が1の繰返部が印刷されます。

繰返し部が2×10の20個印刷されます。										XXXXE
Container No.	Code No.	Unit	Type	Container No.	Code No.	Unit	Type	Container No.	Code No.	Type
1	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	2	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
3	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	4	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
5	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	6	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
7	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	8	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
9	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	10	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
11	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	12	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
13	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	14	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
15	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	16	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
17	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	18	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			
19	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE	20	XXXXXXXXXE	1) XXXXXXXXX XXXXE 2) XXXXXXXXX XXXXE 3) XXXXXXXXX XXXXE 4) XXXXXXXXX XXXXE	XE XE			

- ※ デザイナ画面には繰返分は表示されません。
- ※ 出カイメージは印刷プレビューでご確認ください。

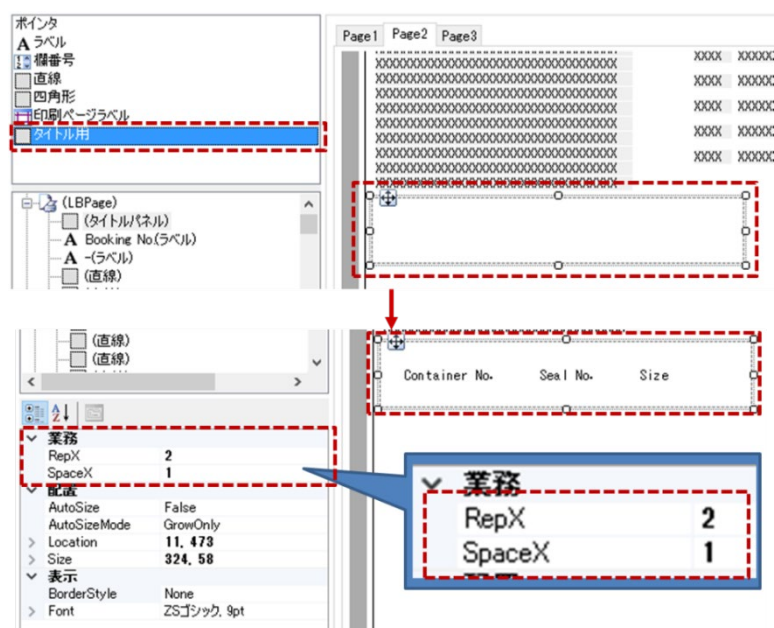
4.6.17 繰返部タイトル用にパネルを利用する

(1) 機能概要

繰返部のタイトルラベルを横方向に繰り返して表示します。

(2) 操作

1. ツールボックスから【タイトル用】（パネル）をデザイナー画面に追加します。
2. 追加した【タイトル用】ヘラベルを追加します。
3. 追加した【タイトル用】のプロパティ【RepX】を設定します。（【RepX】は横方向の繰返数の項目です）



- 【SpaceX】で繰返部の間隔を設定することができます。

例：【RepX】=2、【SpaceX】=1 の場合、横に 2 列横の間隔が 1 の繰返部が印刷されます。



- デザイナ画面には繰返分は表示されません。
- 出力イメージは印刷プレビューでご確認ください。

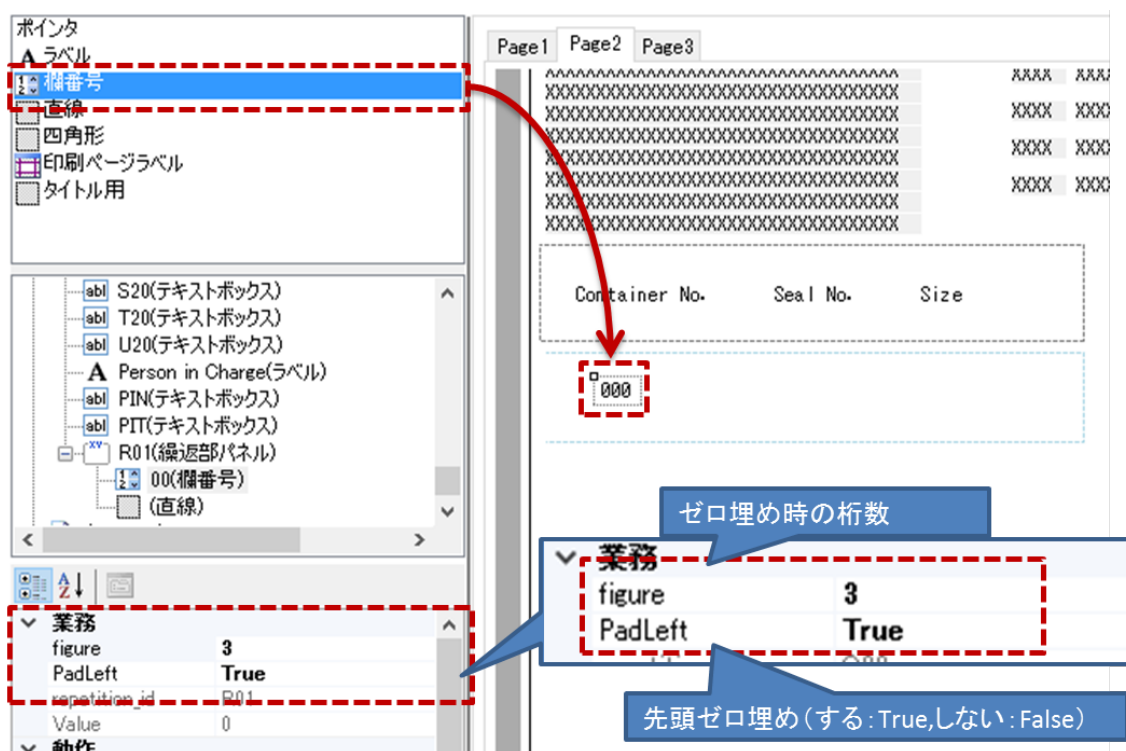
4.6.18 繰返番号（欄番号）を印字する

(1) 機能概要

繰返部の表示データに対して、欄番号（連番）を表示します。

(2) 操作

1. ツールボックスの「欄番号」を目的の「繰返部パネル」に追加します。
2. 「欄番号」のプロパティ「PadLeft」を設定します。



- 先頭ゼロ埋めする場合、プロパティ「PadLeft」を True にし、桁数をプロパティ「figure」で設定します。
- 先頭ゼロ埋めしない場合、「PadLeft」を False に設定します。

例：[PadLeft] =True、[figure] =3 の場合、欄番号が3桁の“ゼロ埋め”で印刷されます。

Container No.	Seal No.	Size	Container No.
001			002
003			004

欄番号が3桁のゼロ埋めで印刷されます。

- 欄番号の最大値は以下の方法で確認可能です。
 1. コントロールツリーで繰返部パネルを選択します。
 2. プロパティウィンドウの[repetition_max]の値が欄番号の最大値です。

The screenshot displays the software's control tree and properties window. In the control tree, the 'R01(繰返部パネル)' (Repetition Panel) is selected. The properties window shows the 'repetition_max' property set to 200, which is highlighted with a red dashed box. The main design area on the right shows a table with columns 'Container No.', 'Seal No.', and 'Size', and a row containing '000'.

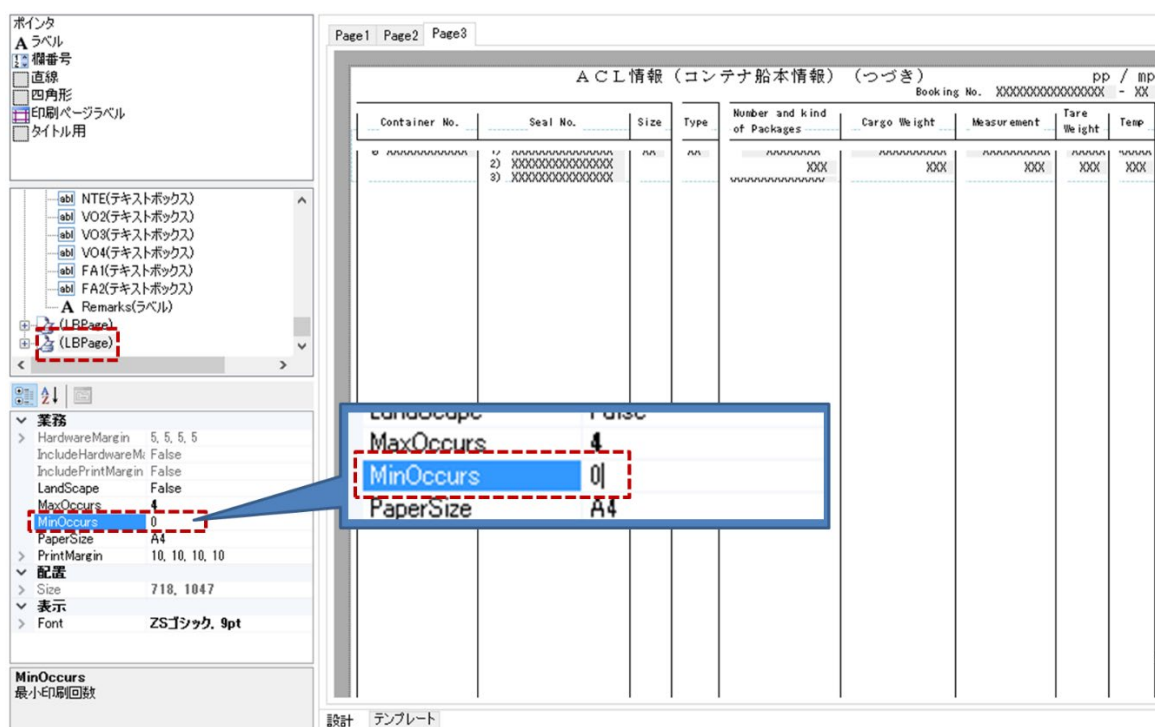
4.6.19 繰返しデータがあるページまで印刷する

(1) 機能概要

繰返部のある帳票電文を印刷する際に、データがない無駄なページを印刷しないように設定できます。

(2) 操作

1. コントロールツリーで繰返部だけのページを選択します。
2. プロパティウィンドウの [MinOccurs] に「0」を設定します。（初期値は「0」となります。）



- [MinOccurs] は最小印刷回数の設定で、最小印刷回数を「0」に設定することで、データがないページは印刷されません。

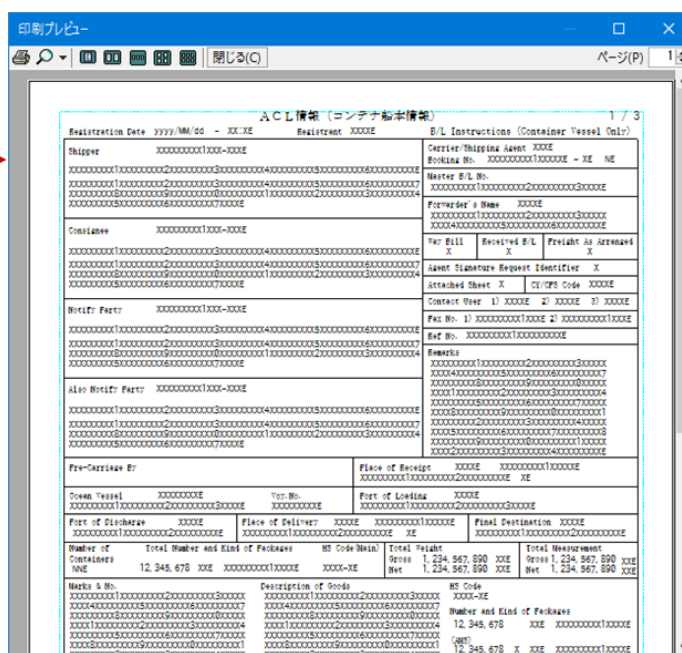
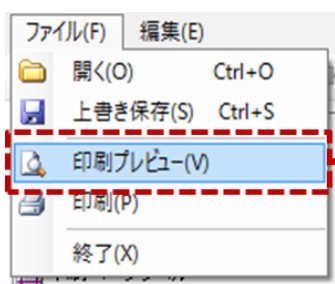
4.7 印刷プレビューする

(1) 機能概要

カスタマイズした帳票レイアウトの印刷イメージを確認するため、印刷プレビューを行います。

(2) 操作

1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 印刷プレビュー] を選択します。
2. 印刷プレビュー画面が表示されます。



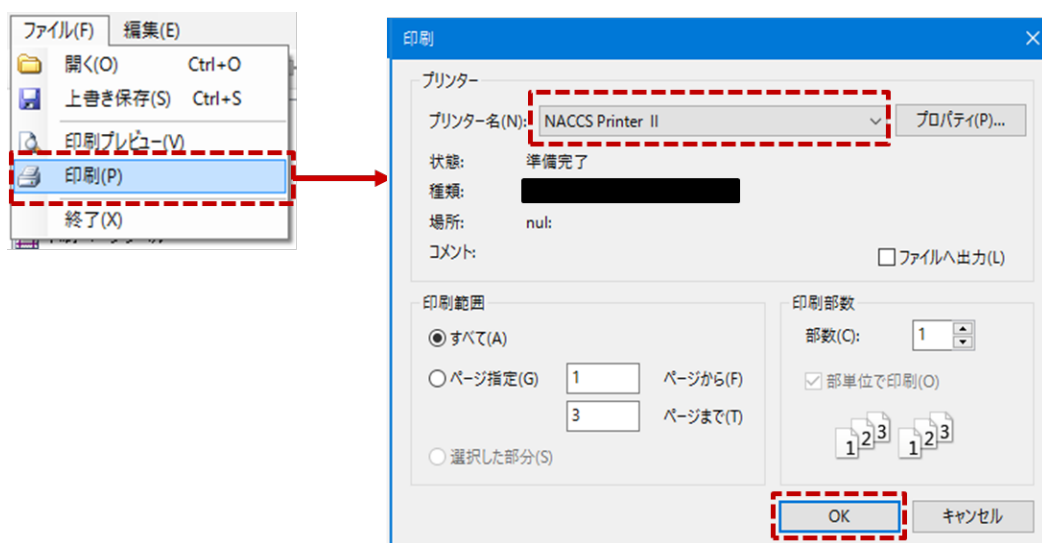
4.8 印刷する

(1) 機能概要

カスタマイズした帳票レイアウトを確認するため、帳票の印刷を行います。

(2) 操作

1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 印刷] を選択します。
2. 印刷ダイアログが表示されますので、出力するプリンターを設定し、[OK] ボタンをクリックすると印刷が行われます。



- 印刷プレビュー画面からも印刷可能です。

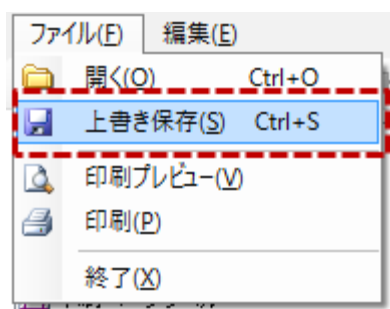
4.9 カスタマイズした帳票を保存する

(1) 機能概要

カスタマイズしたレイアウト内容を上書き保存します。

(2) 操作

1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 上書き保存] を選択します。
2. カスタマイズしたレイアウト内容が上書き保存されます。



- 新規保存機能はありませんので、新しい帳票レイアウトを作成したい場合は、「4.5 (2) (B) 新規に帳票レイアウトを作成する場合」を参照してください。

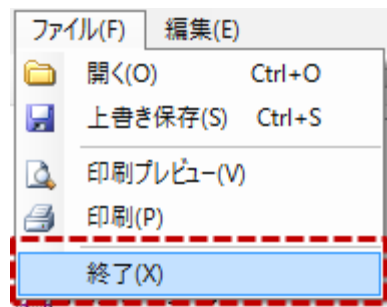
4.10 終了する

(1) 機能概要

ACL カスタマイズを終了します。

(2) 操作

1. ACL カスタマイズメニュー [ファイル | 終了] を選択します。
2. ACL カスタマイズが終了します。



5 NACCS パッケージソフトからの利用

本章では、カスタマイズした帳票レイアウトをパッケージソフトから利用する方法について説明します。

5.1 手動印刷から利用する

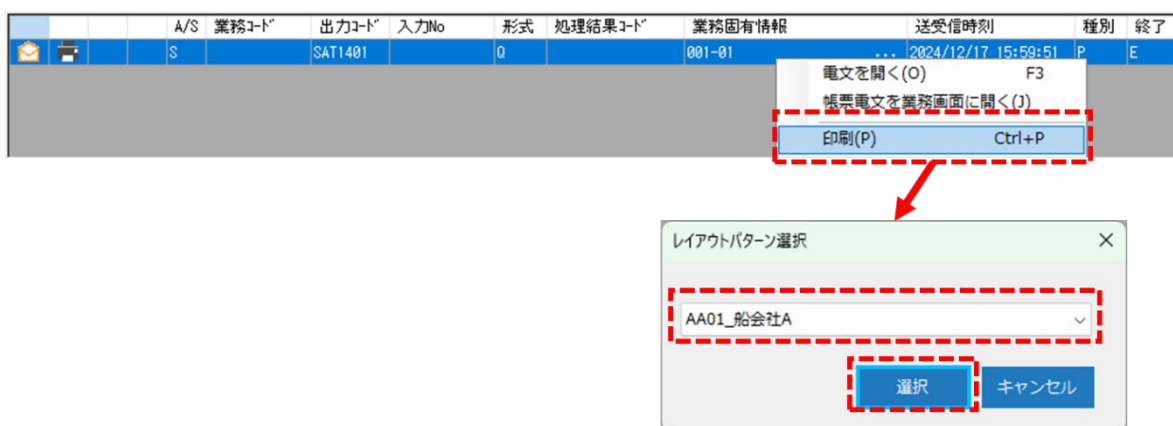
(1) 機能概要

帳票電文の手動印刷、または印刷プレビューを行う際に、カスタマイズしたレイアウトパターンを選択することで、選択したレイアウトパターンで手動印刷、または印刷プレビューを行うことができます。

(2) 操作

例：手動印刷を行う

1. パッケージソフトの送受信電文一覧で印刷を行う帳票電文を 1 件選択し、右クリックメニュー [印刷] を選択します。
2. [レイアウトパターン選択] ダイアログが表示されますので、目的のレイアウトパターンを選択し、[OK] ボタンをクリックします。
3. 選択したレイアウトパターンで印刷が行われます。



- [レイアウトパターン選択] ダイアログの表示の際には、選択している帳票電文の船会社コードに該当するカスタマイズパターン（パターン名の先頭4桁が船会社コードであるパターン）が選択された状態となって表示されます。帳票電文の船会社コードに該当するカスタマイズパターンがない場合（未作成の場合）には、共用パターン（先頭4桁"0000"のパターン）、または初期レイアウトが選択された状態となって表示されます。

5.2 自動印刷／連続印刷から利用するには

(1) 機能概要

受信した帳票電文の船会社コードに該当するカスタマイズパターン（パターン名の先頭4桁が船会社コードであるパターン）を作成しておくことで、船会社ごとのカスタマイズパターンを使用した自動印刷／連続印刷を行うことができます。

(2) 操作

カスタマイズパターンを用いた自動印刷を行うには、目的のACL業務の帳票電文をパッケージソフトの自動印刷対象に設定する必要があります。設定方法はNACCSパッケージソフト操作説明書の「7.4 自動印刷情報設定」を参照してください。

下図は自動印刷の設定例となります。

電文受信時に自動印刷を行う対象を設定します。
(出力情報コードは前方一致で判定されます。)

出力先プリンター							
3 / 3 追加 削除 上へ 下へ							
	出力情報コード	帳票の自動印刷	画面の自動印刷	部数	プリンター	給紙装置名	
	SAT140	☒	☐	1	FUJI XEROX ApeosPort-VI C6671	トレイ1	参照
	SAT143	☒	☐	1	FUJI XEROX ApeosPort-VI C6671	トレイ2	参照
▶	SAT145	☒	☐	1	FUJI XEROX ApeosPort-VI C6671	トレイ3	参照

- 該当する船会社コードのカスタマイズパターンがある場合、そのレイアウトパターンで自動印刷／連続印刷が行われます。
- 該当する船会社コードのカスタマイズパターンがない場合、共用パターン（先頭4桁“0000”のパターン）で自動印刷／連続印刷が行われます。
- 該当する船会社コードのカスタマイズパターンと共用パターンが共にない場合、初期レイアウトで自動印刷／連続印刷が行われます。

5.3 カスタマイズした帳票レイアウトを他の PC と共有するには

(1) 機能概要

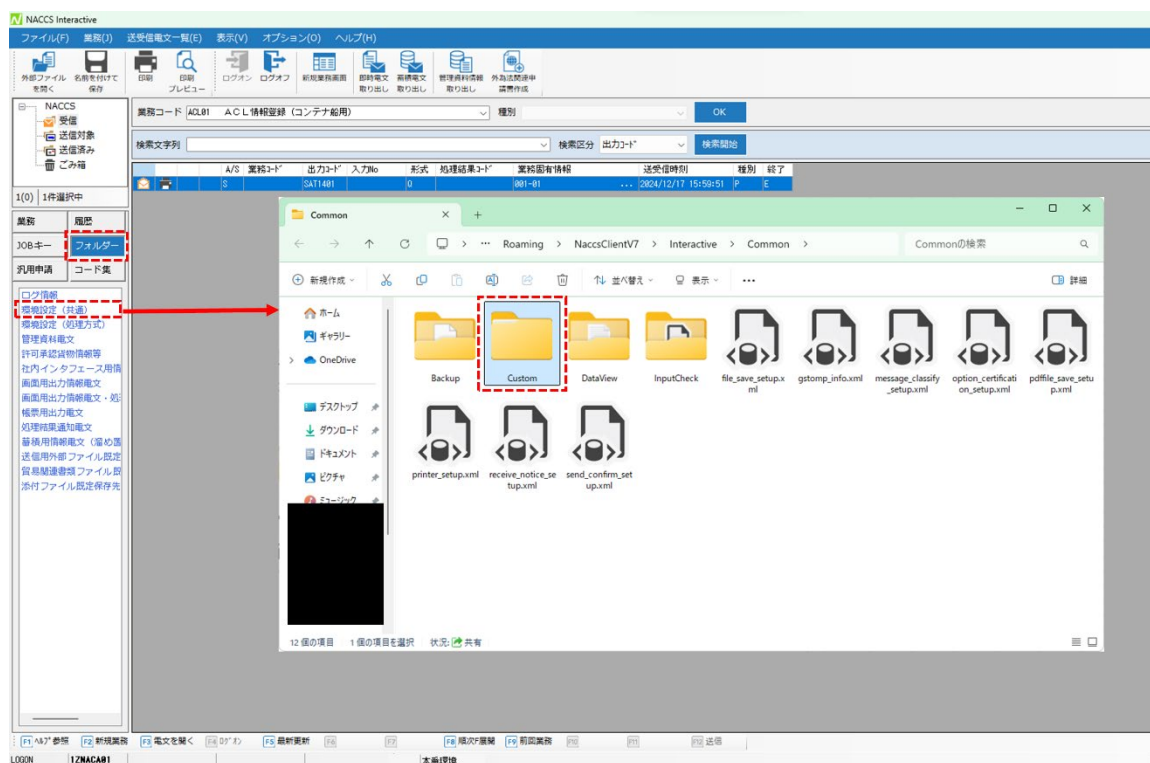
カスタマイズした帳票レイアウト（テンプレート）を格納した「Custom」フォルダーを他の PC へコピーすることで他の PC とカスタマイズパターンの共有ができます。

なお、第 6 次 NACCS パッケージソフトで作成したカスタマイズパターンを、第 7 次 NACCS パッケージソフトに引き継いで使用することもできます。引き継ぎ方法については「4.5.1 過去に作成したレイアウトパターンの引き継ぎ」を参照してください。

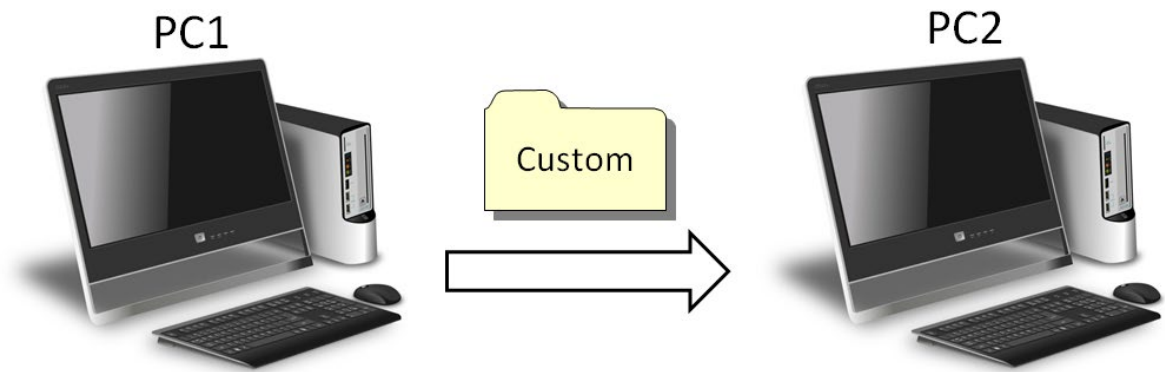
(2) 操作

例：PC①から PC②へ共有する

1. PC①にて、パッケージソフトのメイン画面の業務メニュー内【フォルダー】タブを選択し、【環境設定（共通）】をクリックします。
2. PC①にて、Windows エクスプローラーで「Common」フォルダーが表示されますので、「Custom」フォルダーをコピーします。



3. PC②にて、1. の手順を行い「Common」フォルダーを開きます。
4. PC①でコピーした「Custom」フォルダーを、外部媒体等を介して、PC②の「Common」フォルダーへ貼り付けます。

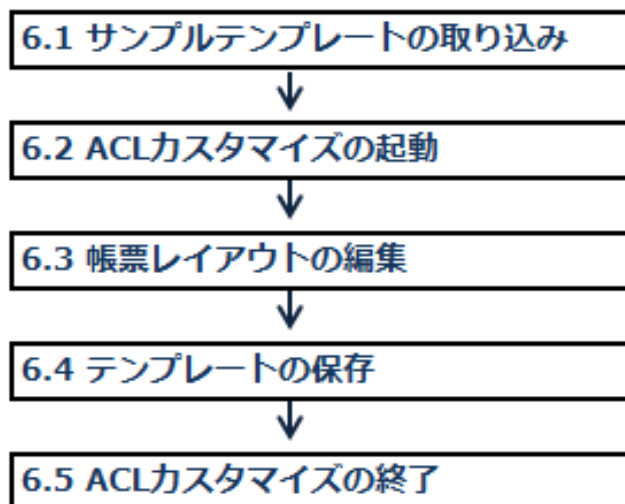


- カスタマイズしたテンプレートは、パッケージソフトの処理方式ごとに保持しているので、他の処理方式で使用したい場合も同様の手順でコピーしてください。

6 チュートリアル

本章ではACLカスタマイズを用いて、サンプルテンプレートの帳票レイアウトをカスタマイズする一連の流れを説明します。

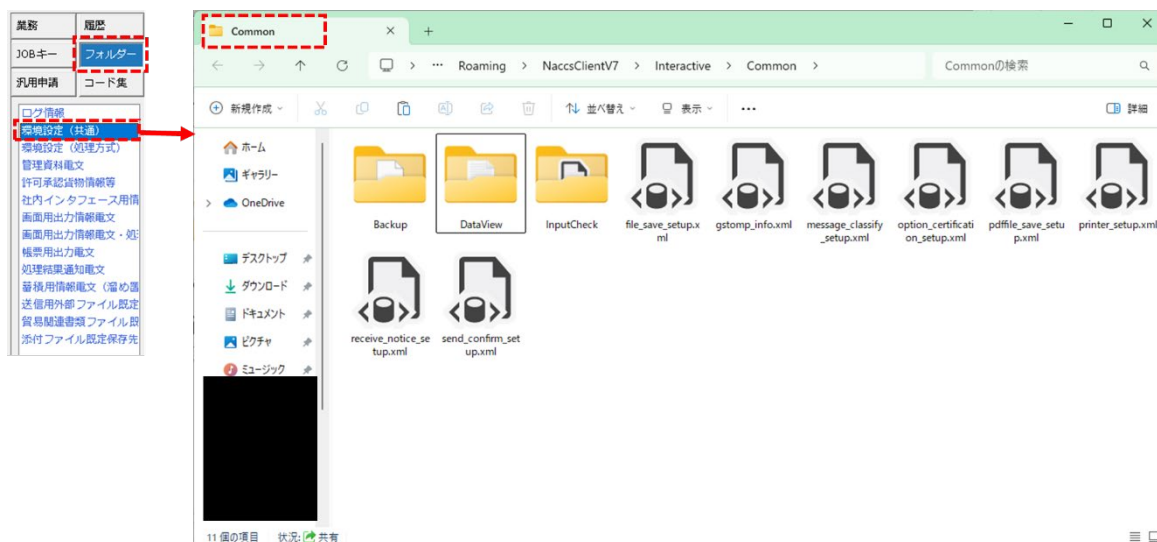
以下の流れにそって、具体的な操作方法を説明します。



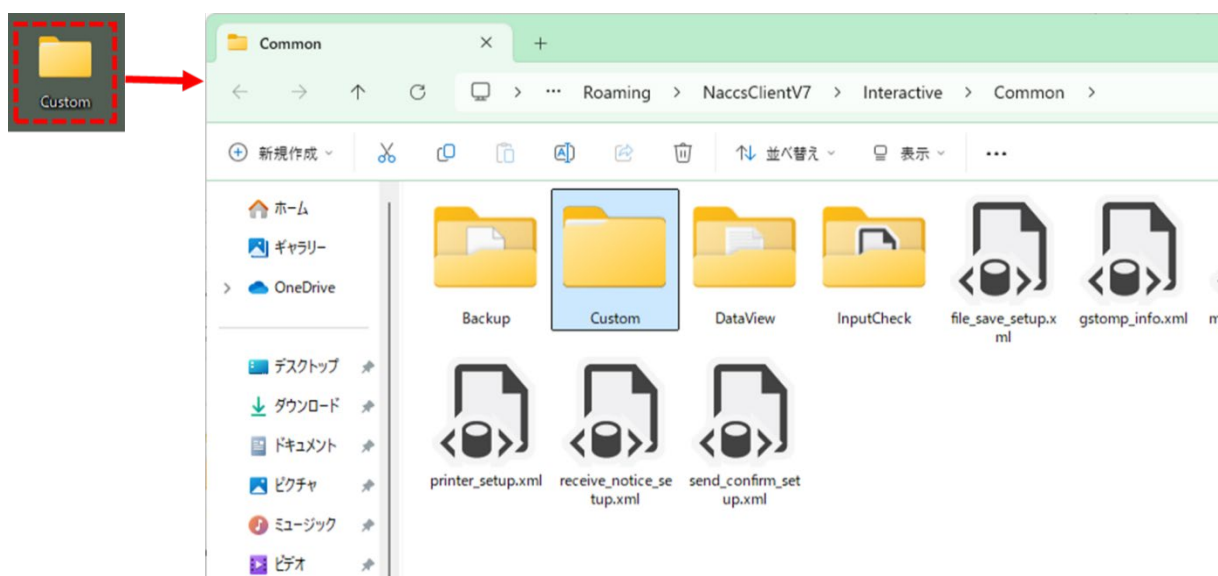
6.1 サンプルテンプレートの取り込み

ACL カスタマイズに使用されるテンプレートファイルのサンプルを NACCS 掲示板よりダウンロードし、取り込みます。

1. パッケージソフトのメイン画面の業務メニュー内「フォルダー」タブを選択し、「環境設定（共通）」を選択します。
2. 新しいウィンドウ「Common」フォルダーが表示されます。



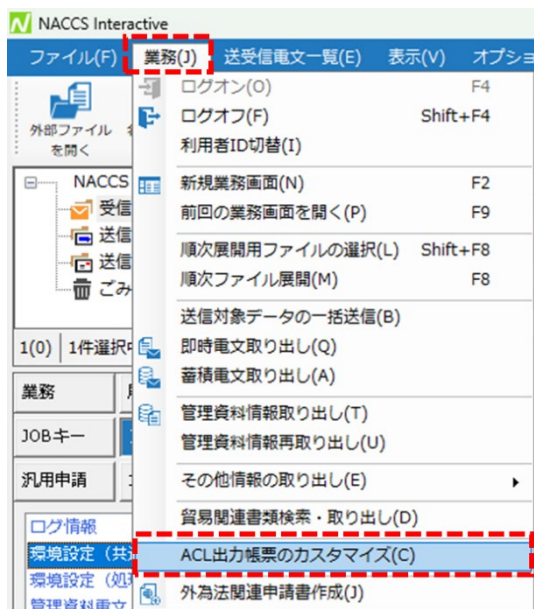
3. NACCS 掲示板よりダウンロードした「Custom」フォルダー（サンプルテンプレート）をコピーします。
4. 「Common」フォルダーに、コピーした「Custom」フォルダーを貼り付けます。



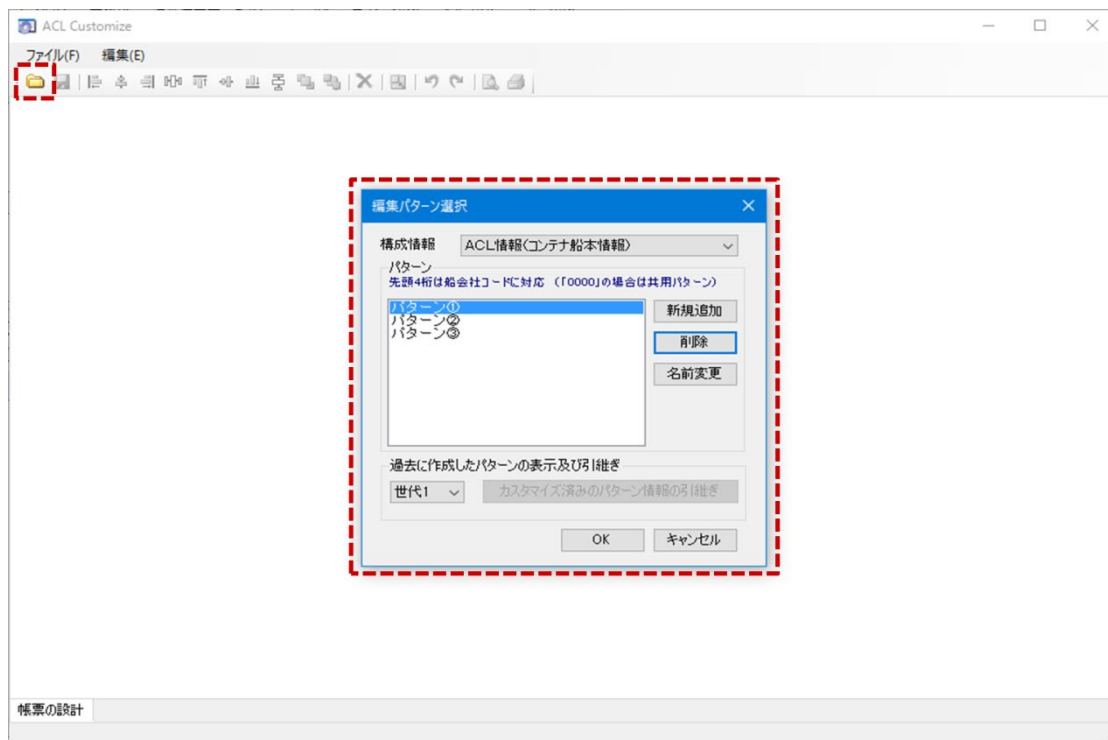
6.2 ACL カスタマイズの起動

ACL カスタマイズ画面を起動し、カスタマイズを行う帳票レイアウトを開きます。

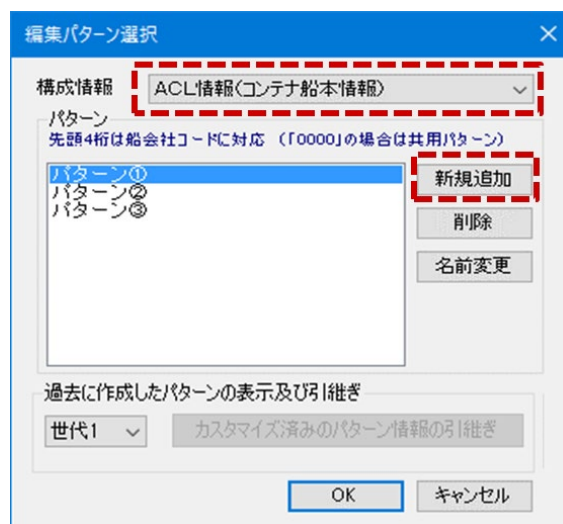
1. メインメニュー「業務 | ACL 出力帳票のカスタマイズ」を選択します。



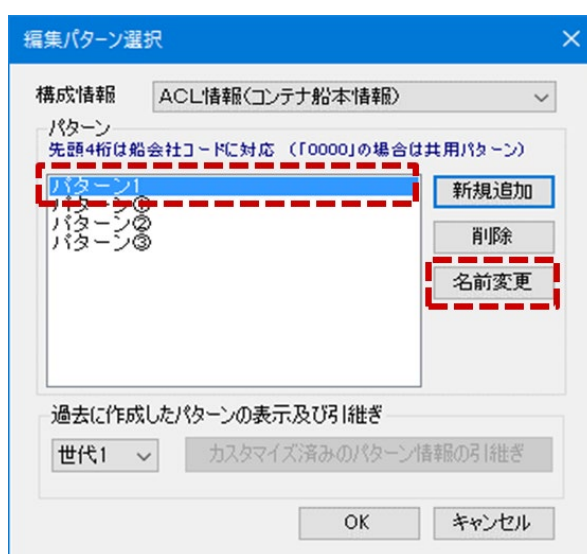
2. 新しいウィンドウ「ACL Customize」が表示されますので、ツールバーから「編集レイアウト」を開きます。
3. 新しいウィンドウ「編集パターン選択」が表示されます。



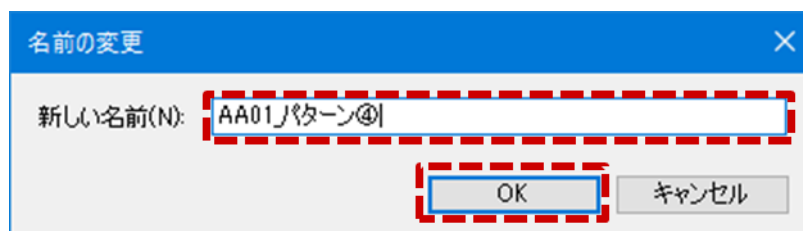
4. [構成情報] から「ACL情報(コンテナ船本情報)」を選択します。
5. [新規追加] ボタンをクリックします。



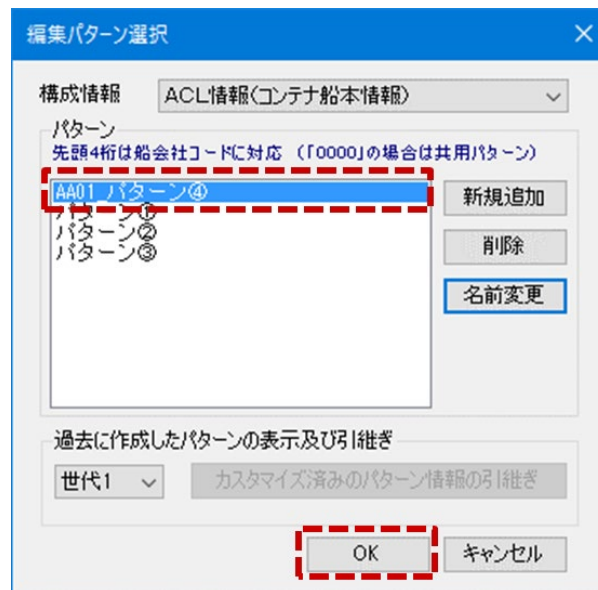
6. 「パターン」から、新規追加された「パターン1」を選択し、[名前変更] ボタンをクリックします。



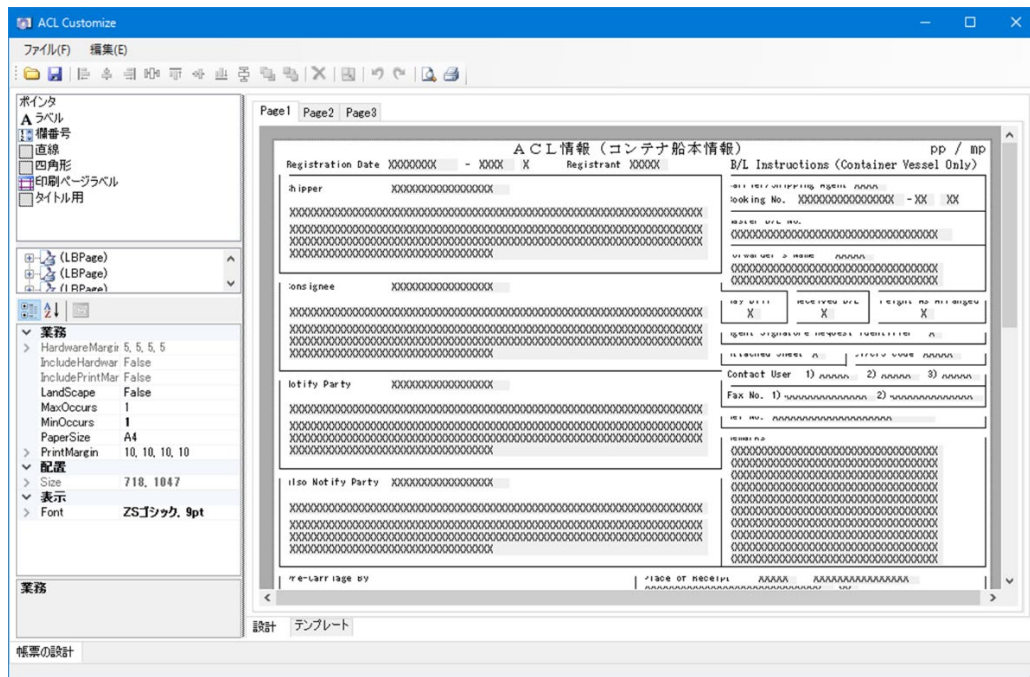
7. 新しい名前に「AA01_パターン④」と入力し、[OK] ボタンをクリックします。



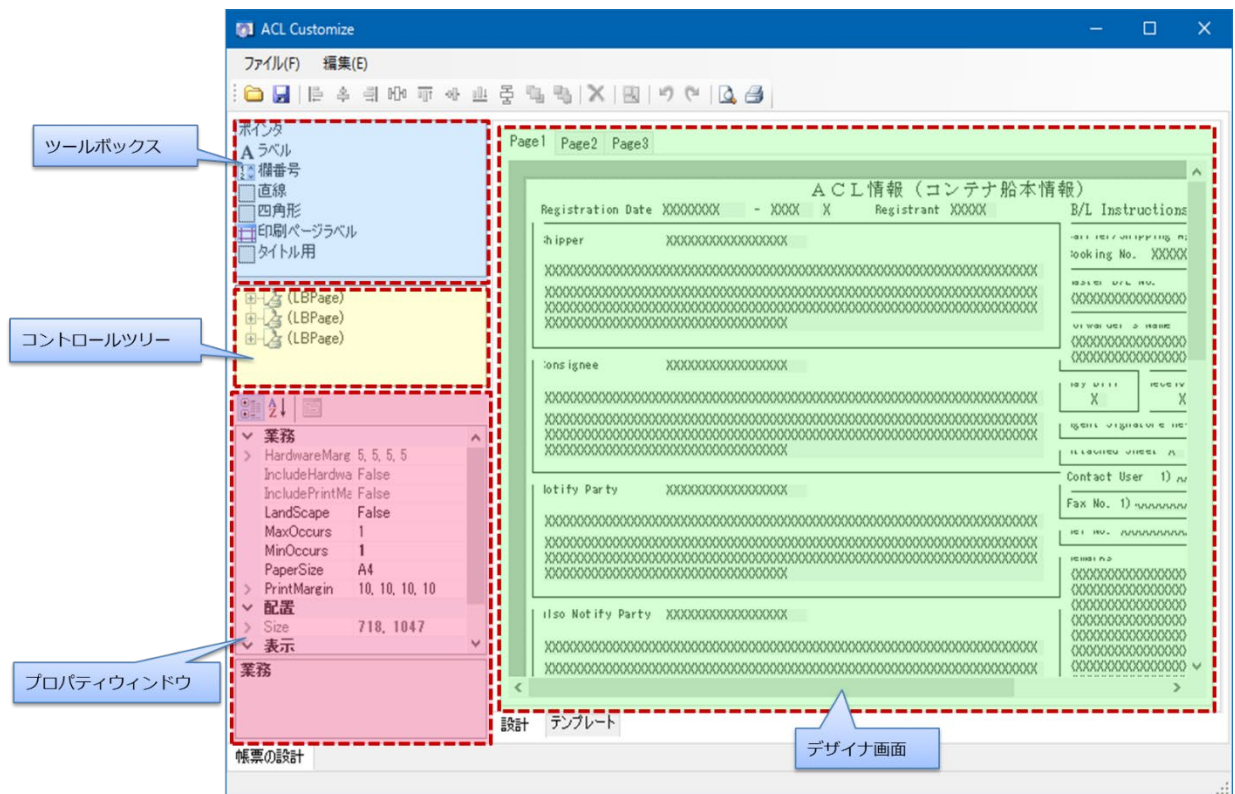
8. 「パターン」から、新規追加（名前変更）した「AA01_パターン④」を選択し、[OK] ボタンをクリックします。



9. ACL カスタマイズのデザイン画面が表示されますので、この画面で編集を行います。



- 画面右側を「デザイナー画面」と呼び、ここだけでもカスタマイズが可能です。
- 詳細な設定をする場合は画面左側の「ツールボックス」と「プロパティウィンドウ」と記載された部分を利用してください。
- 次の項では、主に「デザイナー画面」を利用したカスタマイズを説明します。



これにより、繰返部を「Page2」以降にまとめます。

① 「Page1」 下部の「Container No.」～「Temp」 欄を削除

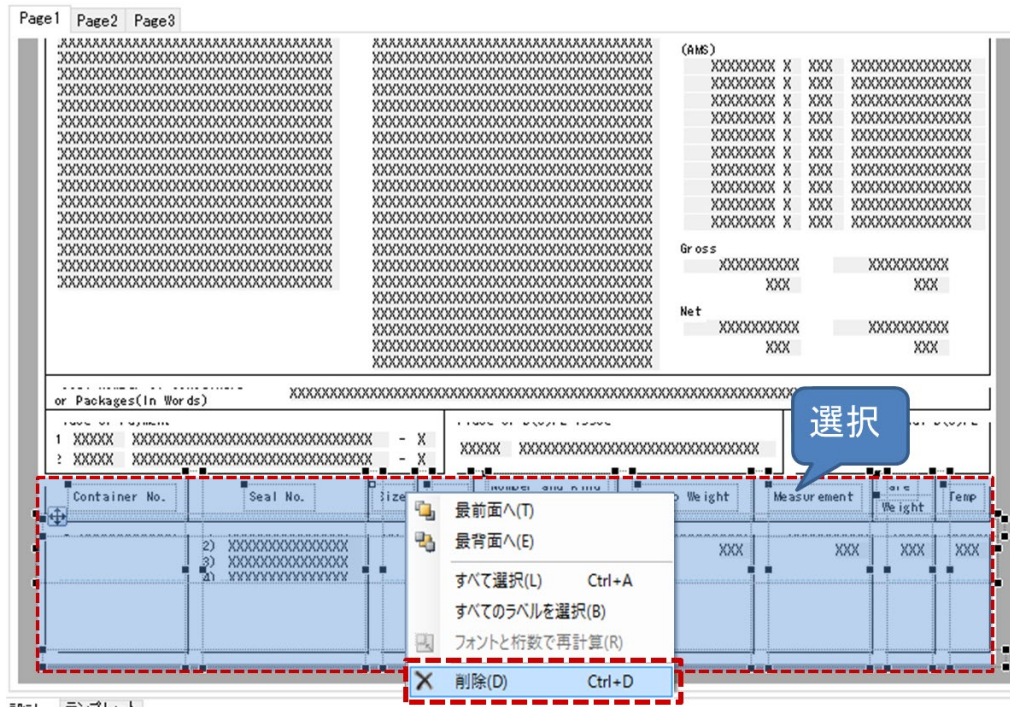
③ 「Page2」の「Fax No.」欄、および「Contact User」欄を削除

④ 「Page2」の項目を移動、下部へ「Container No.」～「Temp」欄を追加

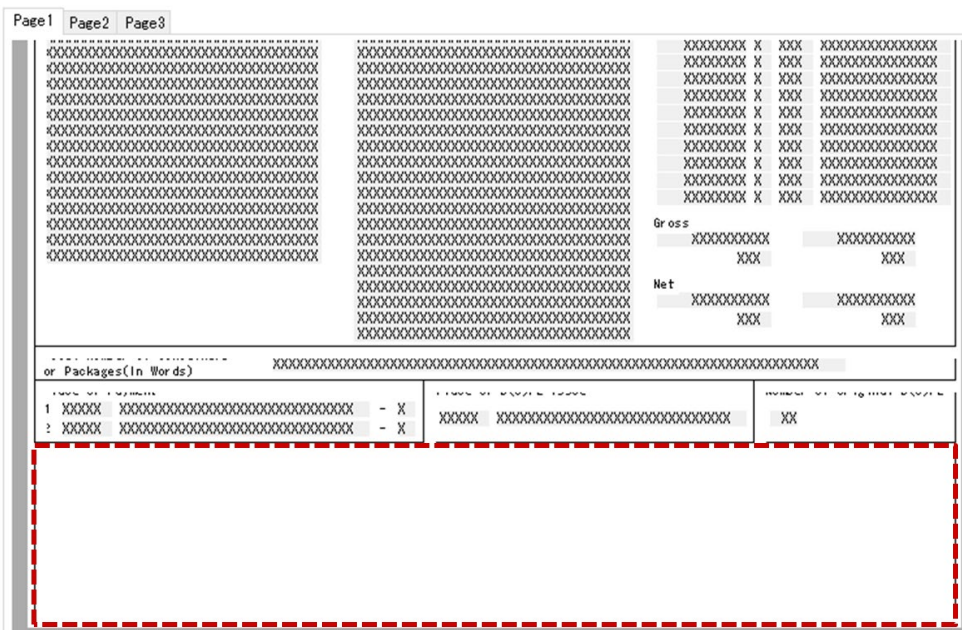


- ① 「Page1」下部の「Container No.」～「Temp」欄を削除
「Page1」の繰返部を削除します。

1. 「Page1」下部の「Container No.」～「Temp」欄を囲むようにドラッグし、すべて選択します。
2. 右クリックメニュー「削除」を選択します。

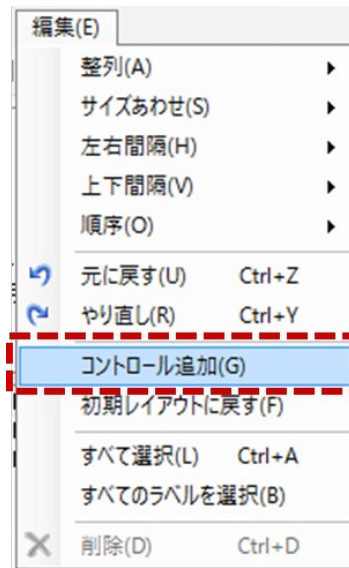


3. 「Container No.」～「Temp」欄が削除されます。

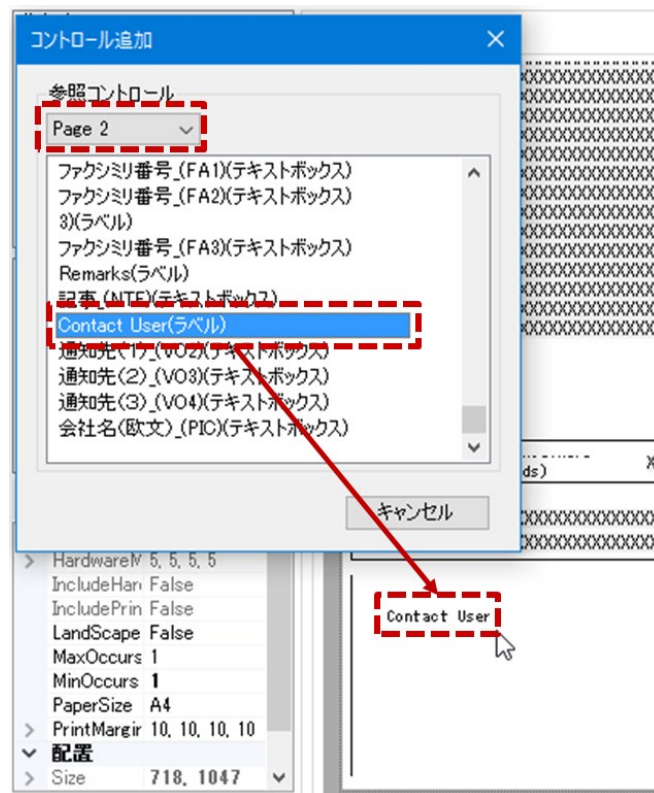


- ② 「Page1」 下部へ「Fax No.」 欄、および「Contact User」 欄を追加、移動
「Page1」 の空いたスペースへ「Page2」 の項目を追加します。

1. 「Page1」 で ACL カスタマイズメニュー [編集 | コントロールの追加] を選択します。



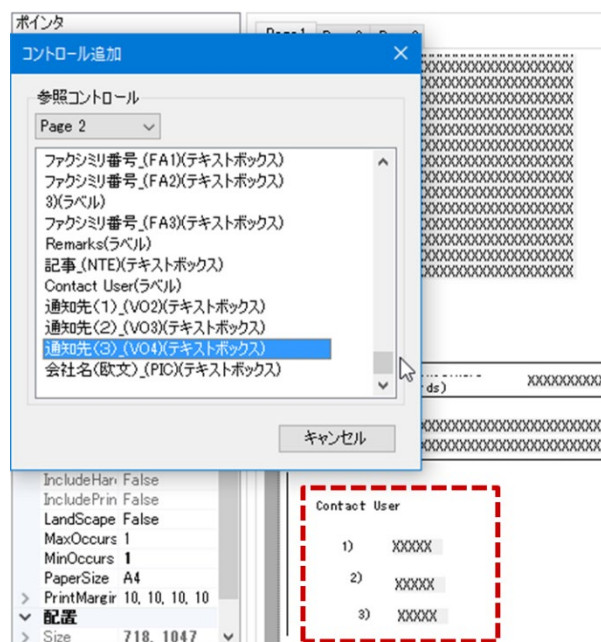
2. [コントロール追加] ダイアログが表示されますので、[Page 2] から「Contact User(ラベル)」を選択し、空いたスペースへドラッグ&ドロップします。



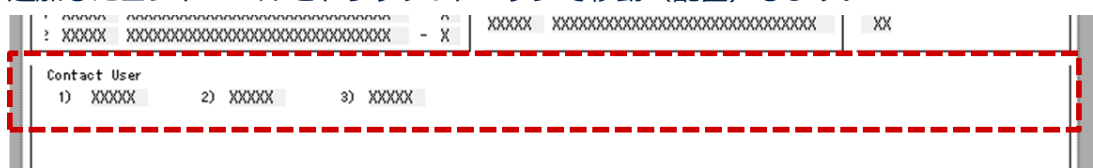
3. 同様に「Contact User」欄の構成に必要な以下のコントロールを追加します。

- 「1)(ラベル)」
- 「2)(ラベル)」
- 「3)(ラベル)」
- 「通知先(1)_(VO2)(テキストボックス)」
- 「通知先(2)_(VO3)(テキストボックス)」
- 「通知先(3)_(VO4)(テキストボックス)」

※ 複数のコントロールを選択し、ドラッグ&ドロップすることで、選択したコントロールを一括で追加することができます。

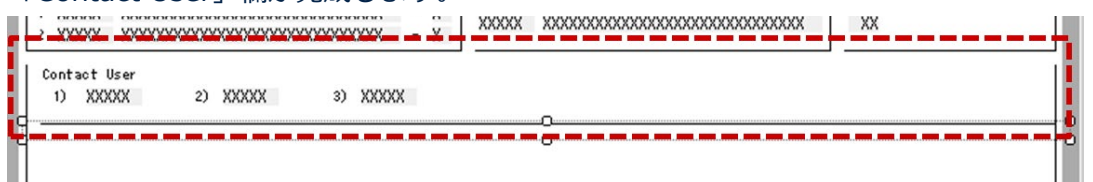


4. 追加したコントロールをドラッグ&ドロップで移動（配置）します。



5. 区切りをつけるため、[コントロール追加] ダイアログより「直線」を追加し、配置します。

6. 「Contact User」欄が完成します。



す。必要なコン

8. 「Page1」の完成です。

- ③ 「Page2」の「Fax No.」欄、および「Contact User」欄を削除
「Page1」へ追加したため、不要となった項目を「Page2」より削除します。

1. 「Page2」タブを選択し、「Page2」を開きます。

The screenshot shows the 'Page2' tab selected in the 'ACL Information (Container Ship Information)' form. The 'Fax No.' field is highlighted with a red dashed box. The form contains various fields for container ship information, including 'Booking No.', 'Shipper's Mail Address', 'Invoice No.', and 'Person in Charge'.

2. 「Fax No.」欄をすべて選択し、右クリックメニューより「削除」を選択します。

The screenshot shows the 'Fax No.' field selected and the right-click context menu open. The '削除(D)' (Delete) option is highlighted. The menu also includes options like '最前面へ(T)' (Move to front), '最背面へ(E)' (Move to back), 'すべて選択(L)' (Select all), 'すべてのラベルを選択(B)' (Select all labels), and 'フォントと桁数で再計算(R)' (Recalculate by font and number of digits).

3. 「Fax No.」欄が削除されます。

The screenshot shows the 'Page2' tab after the 'Fax No.' field has been removed. The form now displays the 'Shipper's Mail Address' and 'Invoice No.' fields, with the 'Fax No.' field no longer present.

4. 同様に「Contact User」欄も削除します。

The image consists of two screenshots of a software application window, likely a data management tool, showing a table with columns for 'Ivocc Code And Booking No.', 'For House Loading', and 'Transmission Identifier'. The table contains multiple rows of data, each represented by a series of 'X' characters.

Top Screenshot: The 'Contact User' column is highlighted in blue. A context menu is open over this column, showing options: '最前面へ(T)', '最背面へ(E)', 'すべて選択(L) Ctrl+A', 'すべてのラベルを選択(B)', 'フォントと桁数で再計算(R)', and '削除(D) Ctrl+D'. The '削除(D)' option is highlighted with a red dashed box, and a red arrow points down to the bottom screenshot.

Bottom Screenshot: The 'Contact User' column has been removed from the table. The table now only displays the 'Ivocc Code And Booking No.', 'For House Loading', and 'Transmission Identifier' columns. The area where the column was removed is outlined with a red dashed box.

④ 「Page2」の項目を移動、下部へ「Container No.」～「Temp」欄を追加

「Page2」の「Fax No.」欄を削除したことにより発生したスペースを埋めるため、項目を上へ移動し、ページ下部に繰返部（「Container No.」～「Temp」欄）を追加します。

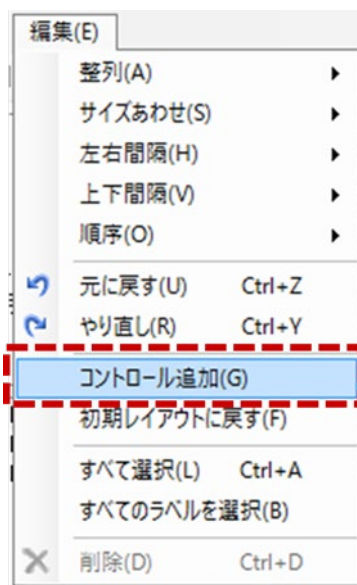
1. 移動する項目をドラッグし、選択します。
2. 選択した項目をドラッグ&ドロップで上へ移動し、スペースを埋めます。

A C L 情報（コンテナ船本情報）（つづき）			pp / mp
Booking No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX			- XX
Shipper's Mail Address XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		Invoice No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Shipper's Section Code XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Shipper's Reference No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Transmitting Code to Shipper XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Agent No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Ref No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	Cargo Type Code XX	
Person in Charge XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX		Remarks XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
Cargo No. XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX			

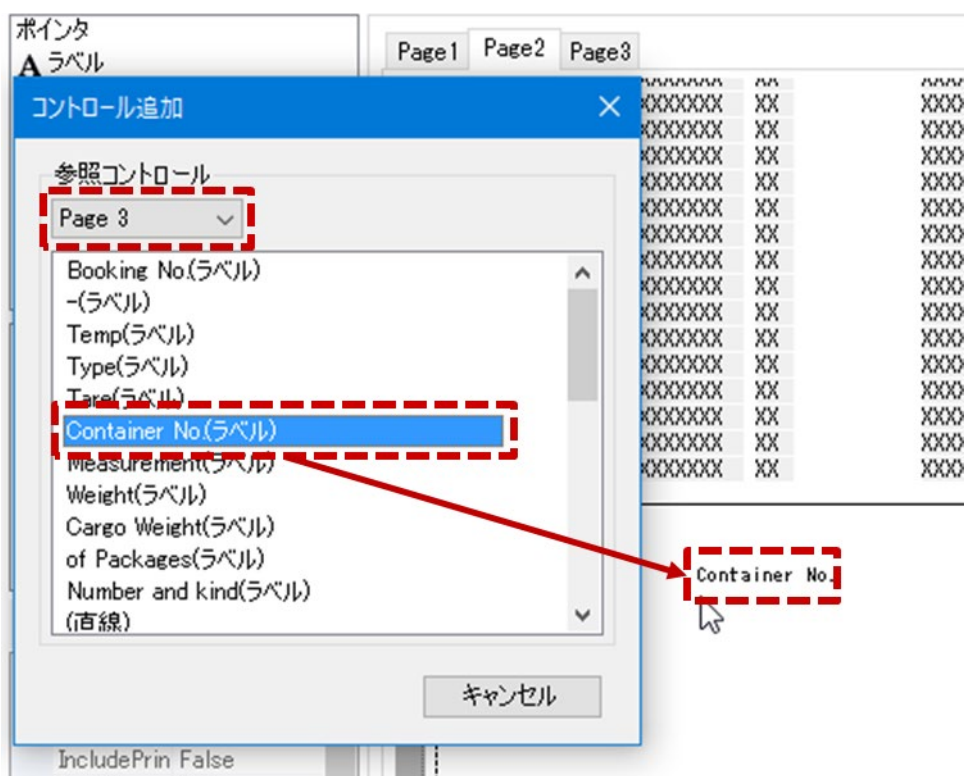
※ 表示されていない項目をドラッグで選択できないため、区切りごとに複数回に分けて移動します。

--

4. ACL カスタマイズメニュー [編集 | コントロールの追加] を選択し、[コントロール追加] ダイアログを開きます。



5. [Page 3] より「Container No.(ラベル)」を選択し、空いたスペースヘドラッグ&ドロップします。



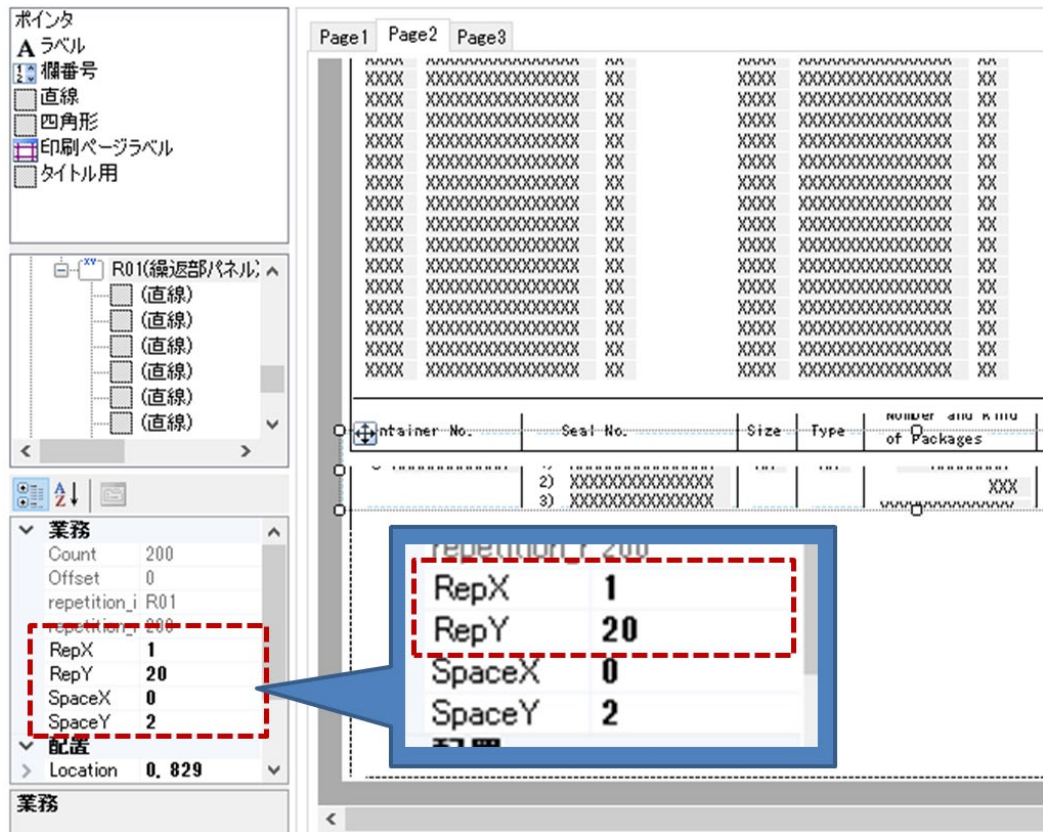
コントロールを追加

- 「Seal No.(ラベル)」
- 「Size(ラベル)」
- 「Type(ラベル)」
- 「Number and kind(ラベル)」
- 「of Packages(ラベル)」
- 「Cargo Weight(ラベル)」
- 「Measurement(ラベル)」
- 「Tare(ラベル)」
- 「Weight(ラベル)」
- 「Temp(ラベル)」
- 「R01(繰返部パネル)」
- 「直線」

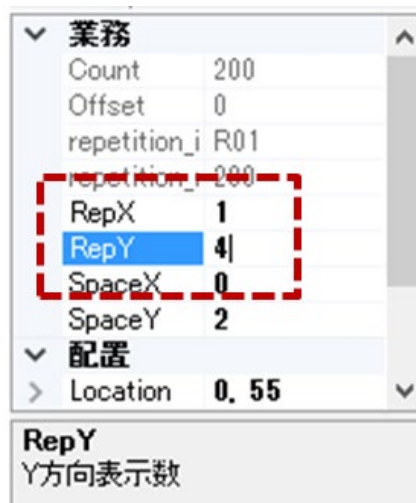
[illegible]

7. 「R01（繰返部パネル）」の表示する数（繰返し数）を設定します。

このままの設定では「RepX（横方向の繰返し数）」が「1」、「RepY（縦方向の繰返し数）」が「20」となっているため、最大で1×20で縦方向に20個表示されます。



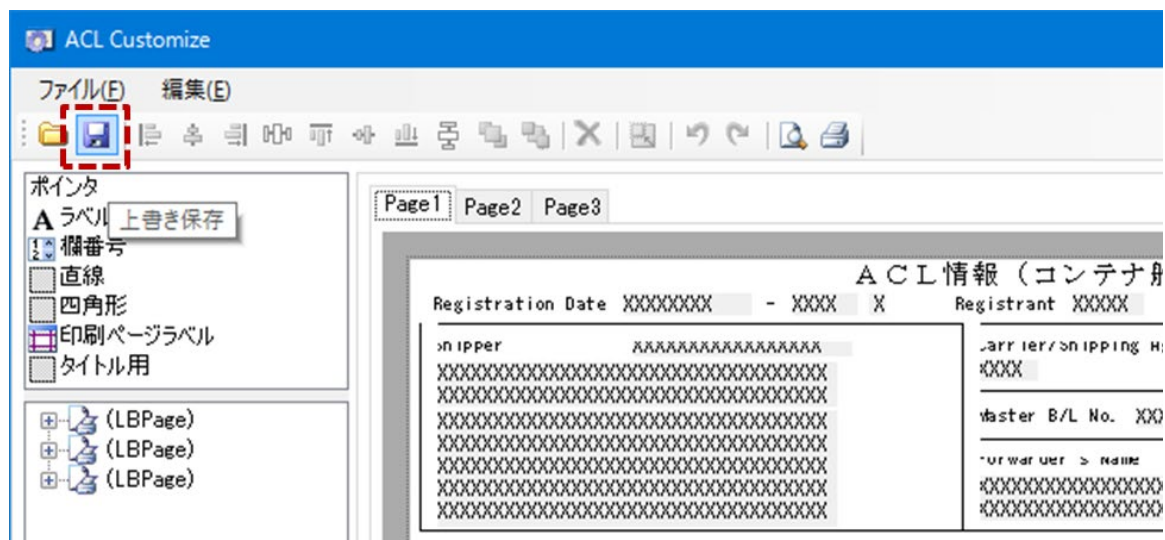
8. 縦方向に4回表示させるため「RepY」に「4」を設定します。



6.4 テンプレートの保存

編集した帳票レイアウトを、テンプレートのパターンとして保存します。

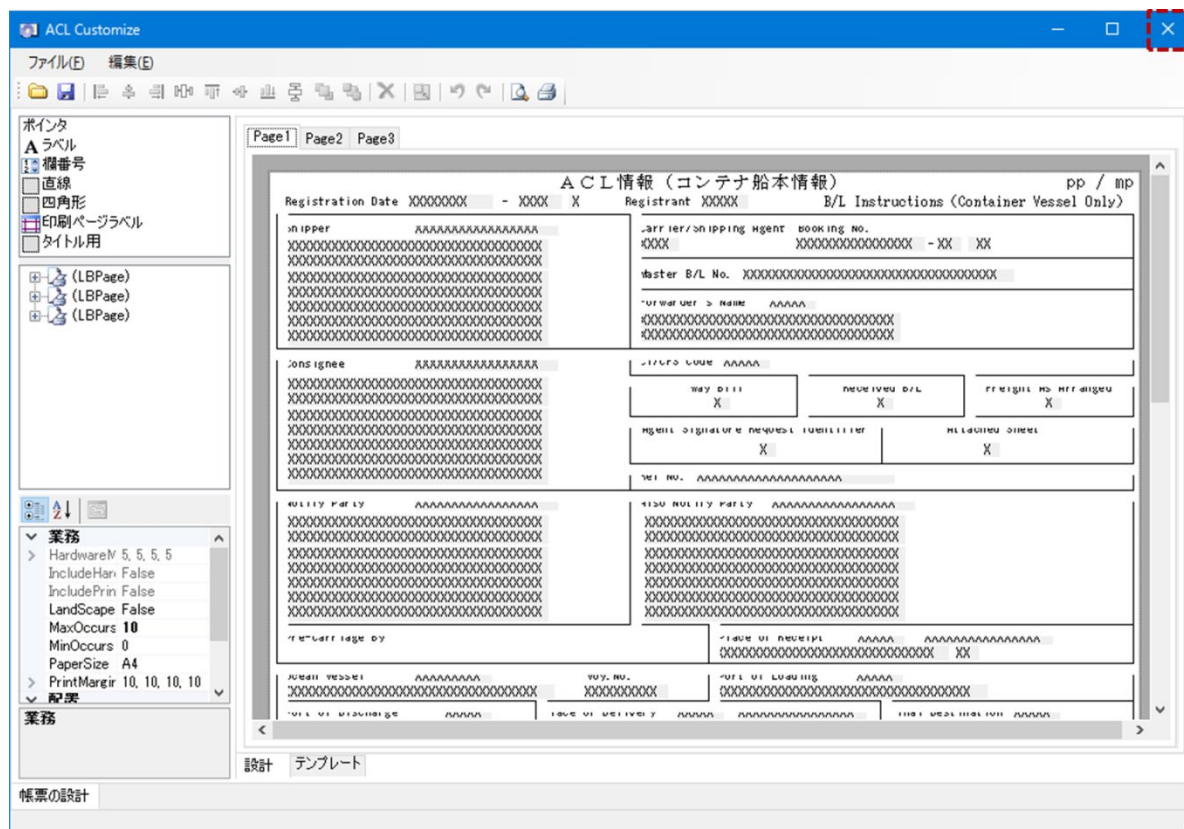
1. ツールバーから「上書き保存」を選択します。
2. 編集した「ACL情報（コンテナ船本情報）」の「AA01_パターン④」として保存されます。



6.5 ACL カスタマイズの終了

ACL カスタマイズ画面を閉じ、操作を終了します。

1. 右上の [x] ボタンをクリックすると ACL カスタマイズが終了します。



7 ACL カスタマイズメニュー

ACL カスタマイズの機能は、ACL カスタマイズメニューから選択して実行します。

表 7-1 ACL カスタマイズメニュー構成

項番	メニュー	配置する操作メニュー
1	ファイル (F)	レイアウトの保存、印刷を行います。
2	編集 (E)	項目の追加、整列、サイズあわせなど、項目の編集に関する操作を行います。

(1) ファイル

カスタマイズしたレイアウトの保存、印刷を行います。

表 7-2 ファイルのメニュー項目

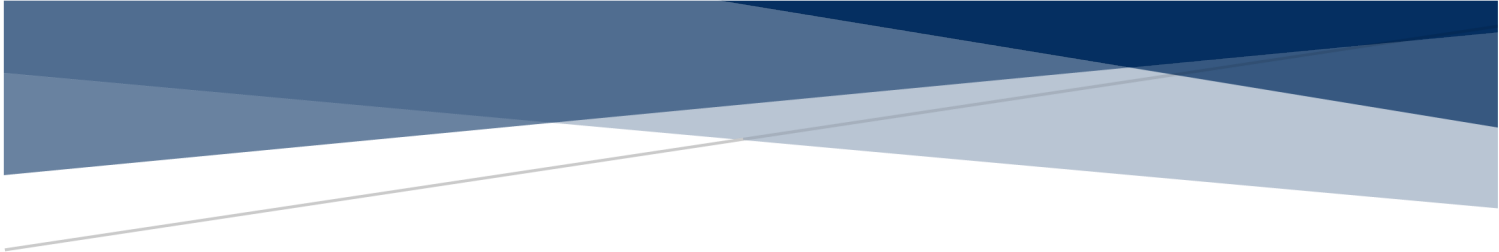
項番	メニュータイトル	ドロップダウンメニュー	カスケードメニュー
1	ファイル (F)	開く (O)	
2		上書き保存 (S)	
3		印刷プレビュー (V)	
4		印刷 (P)	
5		終了 (X)	

(2) 編集

項目の追加、整列、サイズあわせなど、項目の編集に関する操作を行います。

表 7-3 編集のメニュー項目

項番	メニュータイトル	ドロップダウンメニュー	カスケードメニュー
1	編集 (E)	整列 (A)	左 (L)
2			左右中央 (M)
3			右 (R)
4			左右ウィンドウ中央 (H)
5			上 (S)
6			上下中央 (C)
7			下 (B)
8			上下ウィンドウ中央 (V)
9	編集 (E)	サイズあわせ (S)	幅 (W)
10			高さ (H)
11			両方 (B)
12			フォントと桁数で再計算 (R)
13		左右間隔 (H)	等間隔 (E)
14			広げる (I)
15			狭める (D)
16			なくす (N)
17		上下間隔 (V)	等間隔 (E)
18			広げる (I)
19			狭める (D)
20			なくす (N)
21		順序 (O)	最前面へ (T)
22			最背面へ (E)
23		元に戻す (U)	
24		やり直し (R)	
25		コントロール追加 (G)	
26		初期レイアウトに戻す (F)	
27		すべて選択 (L)	
28		すべてのラベルを選択 (B)	
29		削除 (D)	



<別紙 1>

ACL カスタマイズ
詳細設定一覧

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
1	label	Visible		TRUE	コントロールの表示、非表示を示します。 表示: True 非表示: False		☐	System.Boolean
2	label	AutoSize	TRUE		フォント サイズを基にして、サイズの自動調整を行います。これはテキストを折り返さないラベル コントロールでのみ有効です。 自動調整あり: True 自動調整なし: False		☐	System.Boolean
3	label	Dock	None		親コントロールにドッキングする境界を定義します。 None ドッキングなし Top 上位ドッキング Bottom 下位ドッキング Left 左端ドッキング Right 右端ドッキング Fill 全方ドッキング	None, Top, Bottom, Left, Right, Fill	☐	System.Windows.Forms.DockStyle
4	label	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		☐	System.Drawing.Point
5	label	Size		100, 23	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		☐	System.Drawing.Size
6	label	BorderStyle	None		ラベルに表示される境界線を加えるかどうかを決定します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	☐	System.Windows.Forms.BorderStyle
7	label	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		☐	System.Drawing.Font
8	label	ForeColor		ControlText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		☒	System.Drawing.Color
9	label	Text			コントロールに関連付けられたテキストです。		☐	System.String
10	label	TextAlign	MiddleLeft		ラベル内のテキストの位置を決定します。 TopLeft 上詰左詰 TopCenter 上詰左右中央 TopRight 上詰右詰 MiddleLeft 上下中央左詰 MiddleCenter 上下中央左右中央 MiddleRight 上下中央右詰 BottomLeft 下詰左詰 BottomCenter 下詰左右中央 BottomRight 下詰右詰	TopLeft, TopCenter, TopRight, MiddleLeft, MiddleCenter, MiddleRight, BottomLeft, BottomCenter, BottomRight	☐	System.Drawing.ContentAlignment
11	line	LineStyle		Center, Black, Solid, 1	線のスタイル。([ペン位置],[色],[線種],[太さ]) [ペン位置] Center 線の中心 Inset 線の内側 Left 線の左側 Outset 線の外側 Right 線の右側 [線種] Dash ダッシュ DashDot ダッシュ&ドット DashDotDot ダッシュ& 2 つドット Dot ドット Solid 実線		☐	Naccs.Common.CustomControls.LineStyle
12	line	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		☐	System.Drawing.Point
13	line	Size		10, 10	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		☐	System.Drawing.Size
14	line	Direction	Left		斜線の方向を指定。 Right 右上から左下の斜線 Left 左上から右下の斜線	Right, Left	☐	Naccs.Common.CustomControls.Direction
15	page	HardwareMargin		5, 5, 5, 5	ハードウェアマージン(5mm固定)		☒	System.Windows.Forms.Padding
16	page	IncludeHardwareMargin	FALSE		用紙サイズにハードウェアマージンを含めるかどうか		☒	System.Boolean
17	page	IncludePrintMargin	FALSE		用紙サイズに印刷マージンを含めるかどうか		☒	System.Boolean
18	page	LandScape	FALSE		印刷方向(縦: False,横: True)		☐	System.Boolean
19	page	MaxOccurs		1	最大印刷回数		☐	System.Int32
20	page	MinOccurs		0	最小印刷回数		☐	System.Int32
21	page	PaperSize	A4		用紙サイズ(A3、A4、A5)		☐	System.String
22	page	PrintMargin		10, 10, 10, 10	印刷マージン(単位:mm)		☐	System.Windows.Forms.Padding
23	page	Size		718, 1047	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		☒	System.Drawing.Size

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
24	page	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		○	System.Drawing.Font
25	pagelabel	PageFormat			Page ページ番号 PageMax 最大ページ番号 PageProgress ページ進捗 PageTitle ページタイトル1 PageTitle2 ページタイトル2 PrintDate 印刷日付 PrintTime 印刷時刻 FileName ファイル名 JobName 業務名 JobCode 業務コード		○	System.String
26	pagelabel	Visible		TRUE	コントロールの表示、非表示を示します。 表示: True 非表示: False		○	System.Boolean
27	pagelabel	AutoSize	FALSE		フォント サイズを基にして、サイズの自動調整を行います。これはテキストを折り返さないラベル コントロールでのみ有効です。 自動調整あり: True 自動調整なし: False		○	System.Boolean
28	pagelabel	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
29	pagelabel	Size		100, 23	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
30	pagelabel	BorderStyle	None		ラベルに表示される境界線を加えるかどうかを決定します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	○	System.Windows.Forms.BorderStyle
31	pagelabel	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		○	System.Drawing.Font
32	pagelabel	ForeColor		WindowText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		×	System.Drawing.Color
33	pagelabel	Text		(none)	コントロールに関連付けられたテキストです。		○	System.String
34	pagelabel	TextAlign	TopLeft		ラベル内のテキストの位置を決定します。 TopLeft 上詰左詰 TopCenter 上詰左右中央 TopRight 上詰右詰 MiddleLeft 上下中央左詰 MiddleCenter 上下中央左右中央 MiddleRight 上下中央右詰 BottomLeft 下詰左詰 BottomCenter 下詰左右中央 BottomRight 下詰右詰	TopLeft, TopCenter, TopRight, MiddleLeft, MiddleCenter, MiddleRight, BottomLeft, BottomCenter, BottomRight	○	System.Drawing.ContentAlignment
35	prttextbox	Format			設定した書式でデータを変換して描画します。	円カンマ編集: ¥###,### カンマ編集: ###,### 円編集: ¥##### 編集なし: ##### ・日付1: yyyy/MM/dd ・日付2: yyyy.MM.dd ・日付3: yyyy MM dd ・時間: hh:mm:ss ・日付(英): dd-MMM-yyyy 999-99 AAA-AA AAA-99	×	System.String
36	prttextbox	attribute	同一のid属性を持つ<item>属性値と同じ		全角文字or半角英字or……等	A: 半角文字、I: 半角整数、J: 全角(+半角)文字、小数点をもつ数値	×	System.String
37	prttextbox	check_attribute			属性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
38	prttextbox	check_date			日付の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
39	prttextbox	check_full			フル桁入力チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
40	prttextbox	check_time			時刻の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
41	prttextbox	choice_keyvalue			キーとデータを指定	例: 0,はい,1,いいえ	×	System.String
42	prttextbox	figure			桁数を指定	バイト数	×	System.Int32
43	prttextbox	form			データの初期値を指定		×	System.String
44	prttextbox	id			項目略称(項目ID)を指定		×	System.String
45	prttextbox	input_output			入力なのか出力(編集不可)なのかを指定	"+": 入力可, "-": 入力不可(ReadOnly)	×	System.String
46	prttextbox	name			項目名(ラベル)を指定		×	System.String
47	prttextbox	order			固定長デリミタ電文の何行目のデータなのかを指定		×	System.Int32
48	prttextbox	required			必須入力かどうかを指定	M: 必須、C: 任意	×	System.String
49	prttextbox	Multiline	FALSE		エディット コントロールのテキストが複数行にわたることができるかどうかを設定します。		×	System.Boolean

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
50	prttextbox	PasswordChar			単一行エディットコントロールで、パスワードを入力したときに表示される文字を示します。		×	System.Char
51	prttextbox	Visible		TRUE	コントロールの表示、非表示を示します。 表示: True 非表示: False		○	System.Boolean
52	prttextbox	WordWrap	TRUE		複数行エディットコントロールで、行が自動的に折り返されるかどうかを示します。		×	System.Boolean
53	prttextbox	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
54	prttextbox	Size		100, 19	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
55	prttextbox	BorderStyle	Fixed3D		エディットコントロールに境界線を付けるかどうかを示します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	×	System.Windows.Forms.BorderStyle
56	prttextbox	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		×	System.Drawing.Font
57	prttextbox	ForeColor		WindowText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		×	System.Drawing.Color
58	prttextbox	TextAlign	Left		エディットコントロールに対してどのようにテキストを配置するかを示します。 Left 左詰 Center 左右中央 Right 右詰	Left, Right, Center	×	System.Windows.Forms.HorizontalAlignment
59	ran	Count		1	この中にいくつの欄部が含まれるか		×	System.Int32
60	ran	Offset	0		欄の開始番号(オフセット)		×	System.Int32
61	ran	repetition_id			繰返識別		×	System.String
62	ran	repetition_max		1	繰返総数		×	System.Int32
63	ran	RepX		1	X方向表示数		○	System.Int32
64	ran	RepY		1	Y方向表示数		○	System.Int32
65	ran	SpaceX		0	X方向間隔		○	System.Int32
66	ran	SpaceY		0	Y方向間隔		○	System.Int32
67	ran	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
68	ran	Size		200, 100	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
69	ran	BorderStyle	None		パネルに境界線を設定するかどうかを示します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	×	System.Windows.Forms.BorderStyle
70	ran	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		×	System.Drawing.Font
71	ranlabel	figure		2	ゼロ埋めの桁数 例: 2 → "01" 5 → "00001"		○	System.Int32
72	ranlabel	PadLeft	TRUE		ゼロ埋め指定 例: True → "01"、"02"、"03" False → "1"、"2"、"3"		○	System.Boolean
73	ranlabel	repetition_id			繰返識別		×	System.String
74	ranlabel	Value	0		欄番号		×	System.Int32
75	ranlabel	Visible	TRUE		コントロールの表示、非表示を示します。 表示: True 非表示: False		○	System.Boolean
76	ranlabel	AutoSize	TRUE		フォントサイズを基にして、サイズの自動調整を行います。これはテキストを折り返さないラベル コントロールでのみ有効です。 自動調整あり: True 自動調整なし: False		○	System.Boolean
77	ranlabel	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
78	ranlabel	Size		100, 23	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
79	ranlabel	BorderStyle	None		ラベルに表示される境界線を加えるかどうかを決定します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	○	System.Windows.Forms.BorderStyle
80	ranlabel	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		○	System.Drawing.Font
81	ranlabel	ForeColor		ControlText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		×	System.Drawing.Color

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
82	ranlabel	TextAlign	TopLeft		ラベル内のテキストの位置を決定します。 TopLeft 上詰左詰 TopCenter 上詰左右中央 TopRight 上詰右詰 MiddleLeft 上下中央左詰 MiddleCenter 上下中央左右中央 MiddleRight 上下中央右詰 BottomLeft 下詰左詰 BottomCenter 下詰左右中央 BottomRight 下詰右詰	TopLeft, TopCenter, TopRight, MiddleLeft, MiddleCenter, MiddleRight, BottomLeft, BottomCenter, BottomRight	○	System.Drawing.ContentAlignment
83	rectangle	LineStyle		Center, Black, Solid, 1	線のスタイル。([ペン位置],[色],[線種],[太さ]) [ペン位置] Center 線の中心 Inset 線の内側 Left 線の左側 Outset 線の外側 Right 線の右側 [線種] Dash ダッシュ DashDot ダッシュ&ドット DashDotDot ダッシュ& 2 つドット Dot ドット Solid 実線		○	Naccs.Common.CustomControls.LineStyle
84	rectangle	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
85	rectangle	Size		0, 0	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
86	barcode	attribute	同一のid属性を持つ<item>属性値と同じ		全角文字or半角英字or……等	A: 半角文字、I: 半角整数、J: 全角(+半角)文字、小数点をもつ数値	×	System.String
87	barcode	check_attribute			属性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
88	barcode	check_date			日付の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
89	barcode	check_full			フル桁入力チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
90	barcode	check_time			時刻の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
91	barcode	choice_keyvalue			キーとデータを指定	例: 0,はい,1,いいえ	×	System.String
92	barcode	figure			桁数を指定	バイト数	×	System.Int32
93	barcode	form			データの初期値を指定		×	System.String
94	barcode	id			項目略称(項目ID)を指定		×	System.String
95	barcode	input_output			入力なのか出力(編集不可)なのかを指定	"+": 入力可, "-": 入力不可 (ReadOnly)	×	System.String
96	barcode	name			項目名(ラベル)を指定		×	System.String
97	barcode	order			固定長デリミタ電文の何行目のデータなのかを指定		×	System.Int32
98	barcode	required			必須入力かどうかを指定	M: 必須、C: 任意	×	System.String
99	barcode	Visible	TRUE		コントロールの表示、非表示を示します。 表示: True 非表示: False		○	System.Boolean
100	barcode	ByteWidth		12	1文字分のバーコード幅(ピクセル単位)です。[1次元バーコード用]		×	System.Single
101	barcode	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
102	barcode	Size		0, 0	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		○	System.Drawing.Size
103	hand-ocr	attribute	同一のid属性を持つ<item>属性値と同じ		全角文字or半角英字or……等	A: 半角文字、I: 半角整数、J: 全角(+半角)文字、小数点をもつ数値	×	System.String
104	hand-ocr	check_attribute			属性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
105	hand-ocr	check_date			日付の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
106	hand-ocr	check_full			フル桁入力チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
107	hand-ocr	check_time			時刻の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*: チェックを行う	×	System.String
108	hand-ocr	choice_keyvalue			キーとデータを指定	例: 0,はい,1,いいえ	×	System.String
109	hand-ocr	figure			桁数を指定	バイト数	×	System.Int32
110	hand-ocr	form			データの初期値を指定		×	System.String
111	hand-ocr	id			項目略称(項目ID)を指定		×	System.String
112	hand-ocr	input_output			入力なのか出力(編集不可)なのかを指定	"+": 入力可, "-": 入力不可 (ReadOnly)	×	System.String
113	hand-ocr	name			項目名(ラベル)を指定		×	System.String
114	hand-ocr	order			固定長デリミタ電文の何行目のデータなのかを指定		×	System.Int32
115	hand-ocr	required			必須入力かどうかを指定	M: 必須、C: 任意	×	System.String

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
116	hand-ocr	CurrencyMark		¥	通貨記号を指定します。		×	System.String
117	hand-ocr	Visible	TRUE		コントロールの表示、非表示を示します。 表示:True 非表示:False		○	System.Boolean
118	hand-ocr	BoxSize		16.18, 23.81	枠のサイズ(ピクセル単位)です。		×	System.Drawing.SizeF
119	hand-ocr	BytePitch		19.2	1文字分のピッチ幅(ピクセル単位)です。		×	System.Single
120	hand-ocr	FontLocate		1, 3	フォントの表示位置(ピクセル単位)です。		×	System.Drawing.Point
121	hand-ocr	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
122	hand-ocr	Size		0, 0	コントロールのサイズ(ピクセル単位)です。		○	System.Drawing.Size
123	hand-ocr	BoxLine	FALSE		枠線描画の有無を示します。		×	System.Boolean
124	hand-ocr	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		×	System.Drawing.Font
125	hand-ocr	ForeColor		ControlText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		×	System.Drawing.Color
126	comp-ocr	attribute	同一のid属性を持つ<item>属性値と同じ		全角文字or半角英字or.....等	A:半角文字、I:半角整数、J:全角(+半角)文字、小数点をもつ数値	×	System.String
127	comp-ocr	check_attribute			属性チェックを行うかどうかを指定	*:チェックを行う	×	System.String
128	comp-ocr	check_date			日付の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*:チェックを行う	×	System.String
129	comp-ocr	check_full			フル桁入力チェックを行うかどうかを指定	*:チェックを行う	×	System.String
130	comp-ocr	check_time			時刻の妥当性チェックを行うかどうかを指定	*:チェックを行う	×	System.String
131	comp-ocr	choice_keyvalue			キーとデータを指定	例:0,はい,1,いいえ	×	System.String
132	comp-ocr	figure			桁数を指定	バイト数	×	System.Int32
133	comp-ocr	form			データの初期値を指定		×	System.String
134	comp-ocr	id			項目略称(項目ID)を指定		×	System.String
135	comp-ocr	input_output			入力なのか出力(編集不可)なのかを指定	"+":入力可,"-":入力不可(ReadOnly)	×	System.String
136	comp-ocr	name			項目名(ラベル)を指定		×	System.String
137	comp-ocr	order			固定長デリミタ電文の何行目のデータなのかを指定		×	System.Int32
138	comp-ocr	required			必須入力かどうかを指定	M:必須、C:任意	×	System.String
139	comp-ocr	CurrencyMark		¥	通貨記号を指定します。		×	System.String
140	comp-ocr	Visible	TRUE		コントロールの表示、非表示を示します。 表示:True 非表示:False		○	System.Boolean
141	comp-ocr	BytePitch		9.6	1文字分のピッチ幅(ピクセル単位)です。		×	System.Single
142	comp-ocr	FontLocate		0, 0	フォントの表示位置(ピクセル単位)です。		×	System.Drawing.Point
143	comp-ocr	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
144	comp-ocr	Size		0, 0	コントロールのサイズ(ピクセル単位)です。		○	System.Drawing.Size
145	comp-ocr	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		×	System.Drawing.Font
146	comp-ocr	ForeColor		ControlText	テキストを表示するのに使用される、このコンポーネントの前景色です。		×	System.Drawing.Color
147	gstomp	LineStyle		Center, Black, Solid, 1	線のスタイル。([ペン位置],[色],[線種],[太さ]) [ペン位置] Center 線の中心 Inset 線の内側 Left 線の左側 Outset 線の外側 Right 線の右側 [線種] Dash ダッシュ DashDot ダッシュ&ドット DashDotDot ダッシュ& 2 つドット Dot ドット Solid 実線		○	Naccs.Common.CustomControls.LineStyle
148	gstomp	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		○	System.Drawing.Point
149	gstomp	Size		0, 0	コントロールのサイズ(ピクセル単位)です。		○	System.Drawing.Size
150	TitlePanel	RepX			X方向表示数		○	
151	TitlePanel	SpaceX			X方向間隔		○	

ACLカスタマイズ詳細設定一覧

項番	コントロール	属性名	既定値	例	説明	選択可能な値	編集可能	.NETでの型名
152	TitlePanel	AutoSize	FALSE		フォント サイズを基にして、サイズの自動調整を行います。これはテキストを折り返さないラベル コントロールでのみ有効です。 自動調整あり: True 自動調整なし: False		☐	System.Boolean
153	TitlePanel	AutoSizeMode		GrowOnly	ユーザーインターフェイス要素が自動的にサイズを変更するモードを指定します。	GrowAndShrink, GrowOnly	☐	System.Windows.Forms.AutoSizeMode
154	TitlePanel	Location		0, 0	コンテナの上部左端に相対する、コントロールの上部左端の座標です。		☐	System.Drawing.Point
155	TitlePanel	Size		0, 0	コントロールのサイズ (ピクセル単位) です。		☐	System.Drawing.Size
156	TitlePanel	BorderStyle	None		パネルに境界線を設定するかどうかを示します。 None 境界線なし FixedSingle シングル境界線 Fixed3D 3D境界線	None, FixedSingle, Fixed3D	☐	System.Windows.Forms.BorderStyle
157	TitlePanel	Font		MS UI Gothic, 9pt	コントロールでテキストを表示するフォントです。		☐	System.Drawing.Font